

事務事業評価調書

事業名	ひょうご出会い支援事業				部(局)	県民生活部	
					所管課	男女青少年課	
					担当班	家庭応援班	
					連絡先	078-362-4185	
開始年度	令和5年度	終了年度	—	関連計画等			
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()					実施主体等	
事業目的	少子化の大きな要因の一つである「晩婚化・未婚化の進行」に対する取組として、社会全体で結婚を支援するため、ひょうご出会いサポートセンターを運営し、個別お見合い紹介・出会いイベント等を通じて独身男女の出会い・結婚を支援する。						
事業概要	(1) 個別お見合い紹介（出会いサポートセンタースタッフによる個別サポート） センタースタッフが登録会員に対し、プロフィールの書き方からお相手選び、お見合い、交際に至るまでのサポートを実施。 (2) 出会いイベント等の実施・紹介 一度に複数の相手と話をすることができる出会いイベントを実施。また、協賛団体等が行うイベントについても紹介し、希望に合ったイベントに参加できる機会を提供。県内各地で出張結婚相談会や結婚力アップセミナーを開催する等、成婚へ向けた会員の後押しも実施する。						
これまでの改善状況	H31～ 日曜日を開所 R2～ スマホ婚活システムの導入、大手民間婚活事業者3者と連携協定を締結 R4～ 県政改革方針により、R5年度から地域センター（10カ所）を神戸センター1カ所へ統合した上での事業継続を決定 R5～ 重点政策枠事業（本事業）として組み替え事業実施 会員登録など全ての手続きのオンライン化と、会員の価値観に基づきAIがお相手を紹介する機能を備えた新システムの運用を開始						
業務フロー	ひょうご出会いサポートセンターの運営を委託（運営事業者はコンペで決定） (1) 出会いサポートセンタースタッフによる個別サポート 会員登録・プロフィール記入⇒プロフィール閲覧・お見合い申込⇒お見合い⇒交際⇒結婚 (2) 出会いイベントの実施・紹介 イベントの企画・実施、募集にかかるメール配信、SNSでの情報発信						
事業に要するコスト	区 分		3年度決算額	4年度決算額	5年度当初予算額	6年度当初予算額	
	事業費①		0千円	0千円	70,740千円	43,195千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	0千円	0千円	70,740千円	43,195千円	
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(8,796千円)	(2,880千円)	
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(61,944千円)	(40,315千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載				70,740千円	43,195千円	
	執行率（(①/②)×100）		--	--	100.0%	100.0%	
	人件費③（a+b+c）		従事人員	従事人員	従事人員	従事人員	
			0千円	0千円	8,619千円	8,720千円	
職員給与費 a				7,496千円	7,599千円		
賞与引当金繰入額 b				572千円	583千円		
退職手当引当金繰入額 c				551千円	538千円		
総コスト（①+③）		0千円	0千円	79,359千円	51,915千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度目標	最終目標【年度】	
	評価	成果指標（アウトカム指標①）	目標	-	-	200	200	200
ひょうご出会い支援事業による成婚数（組）		実績（見込）	-	-	(200)	(200)	【令和7年度】	
		（単位当たりコスト）	-	-	(397千円)	(260千円)		
		達成率（見込）	-	-	(100.0%)	(100.0%)		
成果指標（アウトカム指標②）		目標	-	-	3,112	4,000	5,000	
お見合い実施回数		実績（見込）	-	-	(3,112)	(4,000)	【令和7年度】	
		（単位当たりコスト）	-	-	(26千円)	(13千円)		
		達成率（見込）	-	-	(100.0%)	(100.0%)		
成果指標（アウトカム指標③）		目標	-	-	-	-	-	
指		活動指標（アウトプット指標①）	実績（見込）	-	-	-	-	-
			（単位当たりコスト）	-	-	-	-	-
			達成率（見込）	-	-	-	-	-
	目標		-	-	3,500	4,500	5,000	
個別お見合い会員（はばタン会員）数	実績（見込）	-	-	(3,500)	(4,500)	【令和7年度】		
	（単位当たりコスト）	-	-	(23千円)	(12千円)			
	達成率（見込）	-	-	(100.0%)	(100.0%)			
活動指標（アウトプット指標②）	目標	-	-	4,335	4,500	5,000		
	実績（見込）	-	-	(4,335)	(4,500)	【令和7年度】		
	（単位当たりコスト）	-	-	(18千円)	(12千円)			
イベント会員（あいサポ会員）数	達成率（見込）	-	-	(100.0%)	(100.0%)			
	目標	-	-	2,000	6,000	7,000		
	実績（見込）	-	-	(2,000)	(6,000)	【令和7年度】		
活動指標（アウトプット指標③）	（単位当たりコスト）	-	-	(40千円)	(9千円)			
	達成率（見込）	-	-	(100.0%)	(100.0%)			
	出会いイベント参加者数							
終期設定	有（ ） ・ 無							
改善基準								
自己	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）				
	<p>○有効性（評価指標に対する実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など <p>○効率性（最小のコストで最大の効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など 	<p>・ 民間の結婚相談所は高額で手が届かず、安価な婚活アプリはなりすまし等の不安があるため、利用をためらう県民にとって有用。</p> <p>・ 公的機関が運営をしていることへの安心感は大きく、利用者の入会理由の大きな要因となっている。</p>		<p>コロナ禍における会員数やお見合い実施回数の減少等により、単年度の成婚組数は減少傾向にあるものの、令和4年6月にはひょうご出会いサポートセンターはばタン会員（お見合い会員）の累計成婚者数が1,000組を突破するなど着実に成果をあげている。</p>				
課題・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他							
評価	<p>説明</p> <p>新システムの導入により手続きをオンライン化し、会員に公平にサービスを提供するとともに、AIマッチングの活用等によりさらなる利便性の向上を図る。</p> <p>R6年度以降のひょうご出会いサポートセンター運営事業者については、利用者のニーズに沿ったきめ細やかなサービス提供をめざし、企画提案コンペで事業者を選定する。</p> <p>さらに、新規お見合い会員の増加、会員の活動の活性化のため、広報活動を強化するとともに、スタッフのフォローを強化し、成婚数の増加、目標の達成を目指す。</p>							

事務事業評価調書

事業名	自転車ヘルメット着用促進事業				部(局)	県民生活部	
					所管課	くらし安全課	
					担当班	交通安全対策班	
					連絡先	078-362-9071	
開始年度	平成14年度	終了年度	令和10年度	関連計画等	自転車活用推進計画		
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	県	
事業目的	<p>「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」に基づき、関係機関と連携した自転車利用者の交通ルール・利用マナーの更なる徹底を図る 県民への自転車ヘルメット着用意識を高め、自転車ヘルメット着用率を上げることにより、県内の自転車事故の死者数を減らす。</p>						
事業概要	<p>チラシ・動画・交通安全教室など様々な媒体等による切間のない着用促進の啓発の実施 ・県内の自転車関係多発市町にて中学生・高校生を中心に市町等と連携して交通ルールなどを啓発 ・四季の運動等交通安全イベントによるヘルメット着用促進の啓発 地区交通安全協会等実施イベント時のチラシ等配布、チラシ電子データの市町及び交通安全ネットワークへの配布による啓発 ・動画作成、ネット広告によるヘルメット着用促進の啓発 着用促進をPRする動画を作成し、ネット広告やSNS広告などによる啓発 ・ヘルメット着用促進高校生等交通安全教室の実施による啓発 高校生等に向け、ヘルメット着用の重要性を、交通事故の疑似体験等を通じて学ぶ交通安全教室を実施(委託)し、ヘルメット着用促進を啓発</p>						
これまでの改善状況	<p>兵庫県は自転車利用者のヘルメット着用率が全国に比べ低いため、R5年度9月補正で自転車利用率の高い学生や子育て世代及び自転車事故による死者数が多い高齢者に対して1人4千円の購入支援の緊急対策を実施。</p>						
業務フロー	<p>県→【啓発チラシ(紙・データ)】→〔地区交通安全協会・市町・交通安全ネットワーク等〕→県民 県→【啓発動画】→〔ネット広告・SNS広告・県HP等〕→県民 県→【交通安全教室】→高校生等</p>						
事業に要するコスト	区 分		3年度決算額	4年度決算額	5年度当初予算額	6年度当初予算額	
	事業費①		6,517千円	3,551千円	5,628千円	7,372千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	6,058千円	3,498千円	3,121千円	6,823千円	
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	459千円	53千円	2,507千円	549千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(6,517千円)	(3,551千円)	(5,628千円)	(7,372千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		7,394千円	4,025千円	5,628千円	7,372千円	
	執行率(①/②×100)		88.1%	88.2%	100.0%	100.0%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員 1.2人	従事人員 0.8人	従事人員 0.6人	従事人員 1.5人	
			8,522千円	5,709千円	4,498千円	11,399千円	
職員給与費	a	8,522千円	5,709千円	4,498千円	11,399千円		
賞与引当金繰入額	b	0千円	0千円	0千円	0千円		
退職手当引当金繰入額	c	0千円	0千円	0千円	0千円		
総コスト(①+③)		15,039千円	9,260千円	10,126千円	18,771千円		

事務事業評価調書

	指標名	区 分	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度目標	最終目標【年度】	
評	成果指標（アウトカム指標①）	目 標	5,000	5,000	5,000	—	—	
		実績（見込）	(4,344)	(4,162)	(4,184)	—	—	
価	自転車関係事故件数	(単位当たりコスト)	(3千円)	(2千円)	(2千円)	—		
		達成率（見込）	(115.1%)	(120.1%)	(119.5%)	—		
指	成果指標（アウトカム指標②）	目 標	—	—	—	16	12	
		実績（見込）	—	—	—	(16)	【各年度】	
標	自転車事故死者数	(単位当たりコスト)	—	—	—	(1,173千円)		
		達成率（見込）	—	—	—	(100.0%)		
指	成果指標（アウトカム指標③）	目 標	—	—	—	13.5	全国平均	
		実績（見込）	—	—	—	(13.5)	【各年度】	
指	自転車ヘルメット着用率 ※R6全国平均(13.5%)	(単位当たりコスト)	—	—	—	(1,390千円)		
		達成率（見込）	—	—	—	(100.0%)		
指	活動指標（アウトプット指標①）	目 標	—	—	—	5	5	
		実績（見込）	—	—	—	(5)	【R10年度】	
指	高校生交通安全教室実施回数	(単位当たりコスト)	—	—	—	(3,754千円)		
		達成率（見込）	—	—	—	(100.0%)		
指	活動指標（アウトプット指標②）	目 標	—	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—	—	
指	活動指標（アウトプット指標③）	(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
標	終期設定	有（令和10年度）					無	
	改善基準	自転車事故者数及び着用率の成果を踏まえ検討						
自	評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など		自転車関係事故件数の減少のため、市町と連携して普及啓発の取り組んでいる。また、スタントマンを使った疑似交通事故により恐怖を実感することで交通ルールの遵守に向けて有効な方法である。		自転車関係事故件数は市町など関係機関と連携し、交通ルールや利用マナーなどを学校で教室を開くなど普及啓発に努め、実績件数は減少傾向である。 H30:5,881件、R元:5,716件 R2:4,311件 R3:4,344件、R4:4,162件			
己	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など		企画提案プロポーザルによる委託契約により民間のノウハウ等を生かすよう努めるとともに、動画やネット広告等を活用して幅広い世代に自転車ヘルメットの着用促進を行い自転車事故死者数を減らしていく。		R5年度より自転車ヘルメット着用が努力義務化されたが兵庫県は着用率が全国的に比べ低いため自転車ヘルメット購入支援に加え、幅広い世代に対して自転車ヘルメット着用促進の動画やSNSなどを活用して積極的な普及啓発を行う。			
	課題・今後の方向性							
評	<input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
	説明	交通安全には特効薬があるわけではなく、繰り返し継続した意識付け・注意喚起が大切であるため、今後も有効な手段を検討しながら、引き続き普及・啓発を実施していく。 また、R6年度は、R5補正予算の繰越しでの対応を検討 【R5.9月補正内容】 ・ 給付台数：120,000台 ・ 給付上限：4,000円/人 ・ 予算額：785,000千円						
価								

事務事業評価調書

事業名	防犯カメラ設置補助事業				部(局)	県民生活部				
					所管課	くらし安全課				
					担当班	地域安全対策班				
					連絡先	078-362-3225				
開始年度	平成22年度	終了年度	—	関連計画等	第6期地域安全まちづくり推進計画					
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業									
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	市町				
事業目的	防犯カメラの設置を促進するため、平成22年度から補助事業を実施し、犯罪発生時に被疑者を追跡できる設備として、重要性と早期解決への効果が認められ、さらなる設置に対してニーズが高まっている。市町のニーズに応じた地域防犯力の向上を支援するため、防犯カメラ設置補助事業を主体的に行う市町に対して補助を行う。									
事業概要	補助対象者：市町（地域団体への間接補助） 補助対象経費：地域団体が、犯罪予防を目的として公道等に常設する、映像の撮影、記録等の機能を有する機器（防犯カメラシステム）及び防犯カメラ設置を明示する標識の購入並びに設置工事に要する経費 補助額：1か所当たり6万円（R6年度～：4万円） 補助箇所数：250か所									
これまでの改善状況	（1か所当たり補助額） H22～H24年度：18万円、H25～R3年度：8万円、R4年度～：6万円、R6年度～：4万円									
業務フロー	申請（地域団体）→受付・審査・申請（市町）→受付・審査（県）→交付（県）									
事業に要するコスト	区 分		3年度決算額		4年度決算額		5年度当初予算額		6年度当初予算額	
	事業費①		39,120千円		26,400千円		30,000千円		10,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円	
		補助金・交付金	39,120千円		26,400千円		30,000千円		10,000千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他	0千円		0千円		0千円		0千円	
	（財源内訳）	（国庫）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（特定）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（起債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（一般財源）	(39,120千円)		(26,400千円)		(30,000千円)		(10,000千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		40,000千円		30,000千円		30,000千円		10,000千円	
	執行率（(①/②)×100）		97.8%		88.0%		100.0%		100.0%	
	人件費③（a+b+c）		従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	0.5人	従事人員	0.5人
			8,225千円		8,257千円		4,310千円		4,360千円	
職員給与費	a	7,102千円		7,136千円		3,748千円		3,800千円		
賞与引当金繰入額	b	572千円		583千円		286千円		292千円		
退職手当引当金繰入額	c	551千円		538千円		276千円		269千円		
総コスト（①+③）		47,345千円		34,657千円		34,310千円		14,360千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 刑法犯認知件数	目標	—	33,018	33,000	33,000
実績（見込）			—	33,018	(36,000)	(33,000)	【各年度】
（単位当たりコスト）			--	(1千円)	(1千円)	(0千円)	/
達成率（見込）			--	100.0%	(109.1%)	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標②）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	/
		達成率（見込）	--	--	--	--	
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	/
		達成率（見込）	--	--	--	--	
指標	活動指標（アウトプット指標①） 防犯カメラ設置補助箇所数【単年度】	目標	500	500	500	250	250
		実績（見込）	489	440	(500)	(250)	【各年度】
		（単位当たりコスト）	(97千円)	(79千円)	(69千円)	(57千円)	/
		達成率（見込）	97.8%	88.0%	(100.0%)	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	/
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	/
		達成率（見込）	--	--	--	--	
目標	終期設定	有（ ）					無
	改善基準						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	地域の防犯力向上につながる新規設置への市町や地域防犯団体等からのニーズを踏まえながら、事業を実施している。		市町による防犯カメラ事業の取組を促進するため、県が先導的に取り組んできた事業であるが、H29年度には全市町で随伴補助など何らかの取組が行われ、また、市町の独自補助・直接設置も増加しているなど、一定の目的は達成されている。			
自己評価	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など	近年の防犯カメラ設置費用の状況を踏まえ、R4年度に補助額を1か所当たり6万円に減額している。					
	課題・今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他	説明 地域の防犯は、住民により近い市町が地域の実情に応じて主体的に取り組むものとの認識から、R5年度から県の直接補助から市町への間接補助に移行した。 R6年度以降も引き続き市町等のニーズや防犯カメラの有効性を踏まえ事業を継続していく。 なお、近年の防犯カメラ設置費用の状況を踏まえ、R6年度からは補助額を4万円/箇所に見直す。					
評価							

事務事業評価調査書

事業名	自動録音電話機等普及促進事業				部(局)	県民生活部				
					所管課	くらし安全課				
					担当班	地域安全対策班				
					連絡先	078-362-3225				
開始年度	令和4年度	終了年度	—	関連計画等	第6期地域安全まちづくり推進計画					
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業									
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	市町				
事業目的	高齢者の特殊詐欺被害を未然に防止するため、市町が実施する自動録音電話機等の普及事業を支援することにより、県下全域で特殊詐欺被害の未然防止対策を講じる。									
事業概要	<p>【R5年度当初】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象者：65歳以上の高齢者（市町への間接補助） ・補助対象経費：高齢者への自動録音電話機又は外付け録音機の購入補助又は貸与事業に要する経費 ・補助額：①警告機能付き自動録音電話機：4千円/台、②警告機能付き外付け録音機2千円/台、③警告機能付き外付け録音機貸与：1.5千円/台 <p>【R5年度12月補正】※補助上限額を拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助額：①警告機能付き自動録音電話機10千円/台、②警告機能付き外付け録音機5千円/台 									
これまでの改善状況	特殊詐欺被害が過去最悪のペースで増加していることを踏まえ、R5年度12月補正で緊急対策を実施 ①自動録音機能付電話機等の機器購入費に対する補助事業（市町を通じた補助）を拡充 ②多様化する特殊詐欺の手口や対策について幅広い周知を図るため、県内各地できめ細かく被害対策講習会を開催するとともに、金融機関等高齢者がよく訪れる場所での普及啓発など、広く被害防止対策キャンペーンを実施									
業務フロー	申請（65歳以上の高齢者）→受付・審査・申請（市町）→受付・審査（県）→交付（県）									
事業に要するコスト	区 分		3年度決算額		4年度決算額		5年度当初予算額		6年度当初予算額	
	事業費①		0千円		9,174千円		8,925千円		0千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円	
		補助金・交付金	0千円		9,174千円		8,925千円		0千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他	0千円		0千円		0千円		0千円	
		（財源内訳）	（国庫）地方創生臨時交付金	(0千円)		(9,174千円)		(8,925千円)		(0千円)
		（特定）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（起債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
	予算額②		0千円		13,650千円		8,925千円		0千円	
	※精算補正前の予算を記載									
	執行率（(①/②)×100）		--		67.2%		100.0%		--	
	人件費③（a+b+c）		従事人員	0.0人		従事人員	1.0人		従事人員	1.0人
			0千円		8,257千円		8,619千円		0千円	
	職員給与費 a	0千円		7,136千円		7,496千円		0千円		
	賞与引当金繰入額 b	0千円		583千円		572千円		0千円		
	退職手当引当金繰入額 c	0千円		538千円		551千円		0千円		
総コスト（①+③）		0千円		17,431千円		17,544千円		0千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 特殊詐欺認知件数	目標	—	1,100	1,200	—
実績（見込）			—	1,074	(1,200)	—	【R5年度】
（単位当たりコスト）			—	(16千円)	(15千円)	—	
達成率（見込）			—	97.6%	(100.0%)	—	
成果指標（アウトカム指標②）		目標	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
指標	活動指標（アウトプット指標①） 自動録音電話機等設置補助台数	目標	—	2,400	2,300	—	2,300
		実績（見込）	—	2,428	(2,300)	—	【R5年度】
		（単位当たりコスト）	—	(7千円)	(8千円)	—	
		達成率（見込）	—	101.2%	(100.0%)	—	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
目標	終期設定	○（令和5年度） ・ 無					
	改善基準						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	特殊詐欺被害が過去最悪のペースで増える中、被害防止に効果がある自動録音機能付電話機等の購入補助について、市町・県民のニーズに沿った事業内容となっている。		自動録音電話機等設置補助台数は、R4に引き続きR5年度も堅調に推移しており、特殊詐欺被害の未然防止に一定の役割を果たしている。			
自己評価	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など	SNSや県・市町ホームページによる特殊詐欺に係る情報発信、県警や学生ボランティアと連携したPRキャンペーン等、積極的な普及啓発活動を行っている。					
	課題・今後の方向性 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
評価	説明	R6年度は、R5補正予算の繰越しでの対応を検討 【R5.12月補正内容】 ・ 補助台数：130,000台 ・ 補助上限：自動録音機能付電話機購入：10,000円、外付録音機購入：5,000円 ・ 予算額：1,500,000千円（補助金：1,300,000千円、普及啓発経費：200,000千円）					

事務事業評価調書

事業名	犯罪被害者等支援推進事業				部(局)	県民生活部		
					所管課	くらし安全課		
					担当班	地域安全対策班		
					連絡先	078-362-3173		
開始年度	令和5年度	終了年度	—	関連計画等	犯罪被害者等の権利利益の保護等を図るための施策の推進に関する条例			
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	県・(公社)ひょうご被害者支援センター		
事業目的	犯罪被害者等の権利利益の保護等を図るための施策の推進に関する条例に基づき令和5年10月に設置した「兵庫県犯罪被害者等総合相談窓口」において、個々の事情を踏まえた必要な支援をコーディネートする。							
事業概要	兵庫県犯罪被害者等総合相談窓口の設置 (R5年度～) 委託先：公益社団法人ひょうご被害者支援センター 事業内容：ワンストップ相談、支援コーディネート、市町・生活支援事業者研修 等							
これまでの改善状況	—							
業務フロー	ひょうご被害者支援センターと委託契約							
事業に要するコスト	区 分		3年度決算額	4年度決算額	5年度当初予算額	6年度当初予算額		
	事業費①		0千円	0千円	10,349千円	12,711千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	462千円	0千円		
		委託料	0千円	0千円	9,472千円	12,711千円		
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他	0千円	0千円	415千円	0千円		
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(10,349千円)	(12,711千円)		
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		0千円	0千円	10,349千円	12,711千円		
	執行率 ((①/②) × 100)		—	—	100.0%	100.0%		
	人件費③ (a+b+c)		従事人員		従事人員		従事人員	
			0千円	0千円	8,619千円	1.0人	8,720千円	1.0人
職員給与費 a				7,496千円		7,599千円		
賞与引当金繰入額 b				572千円		583千円		
退職手当引当金繰入額 c				551千円		538千円		
総コスト (①+③)		0千円	0千円	18,968千円	21,431千円			

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①）	目標	—	—	5	10
複数の関係機関による支援実施件数		実績（見込）	—	—	(5)	(10)	【R9年度】
		(単位当たりコスト)	--	--	(3,794 千円)	(2,143 千円)	
		達成率（見込）	--	--	(100.0%)	(100.0%)	
		成果指標（アウトカム指標②）	目標	—	—	—	—
成果指標（アウトカム指標③）		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
		活動指標（アウトプット指標①）	目標	—	—	200	400
犯罪被害者等電話相談件数		実績（見込）	—	—	(200)	(400)	【R9年度】
		(単位当たりコスト)	--	--	(95 千円)	(54 千円)	
		達成率（見込）	--	--	(100.0%)	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—	—
活動指標（アウトプット指標③）	実績（見込）	—	—	—	—	—	
	(単位当たりコスト)	--	--	--	--		
	達成率（見込）	--	--	--	--		
	終期設定	有（ ） ・ 無 ()					
改善基準	R6年度以降の電話相談件数が200件を下回る状況が続く場合に事業内容の見直しを検討						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	総合相談窓口の開設以降、不安や悩みを抱える犯罪被害者等からの相談に、専門知識・経験を有する犯罪被害相談員が対応している。			犯罪被害に関する相談のワンストップ窓口として、不安や悩みを抱える犯罪被害者等に適切な助言等を行っている。		
課題・今後の方向性	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など	相談員は必要最低限の人数（2名）を配置し、効率的な運営に努める。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明： 支援計画の策定に携わった有識者等から適宜、必要とされる施策の意見聴取を行い、支援方策のあり方を検討する。						

事務事業評価調書

事業名	性被害ケアセンター設置等事業				部(局)	県民生活部	
					所管課	くらし安全課	
					担当班	地域安全対策班	
					連絡先	078-362-3173	
開始年度	平成29年度	終了年度	—	関連計画等	第6期地域安全まちづくり推進計画		
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	(公社)ひょうご被害者支援センター等	
事業目的	<p>性暴力被害者の心身の負担軽減、被害の潜在化を防止するため、専用相談窓口を設け、医療費助成、医療機関等への同行支援、法律相談、心のケア等を一体的に行う性暴力ワンストップ支援センターを設置する。</p> <p>併せて、ワンストップ支援センター設置を契機に、より性犯罪等犯罪被害者等が抱える課題の理解促進を図るため、犯罪被害者等の心情への配慮や二次被害の防止の普及啓発を支援する。</p>						
事業概要	<p>①性被害ケアセンター「よりそい」の設置 委託先(一部補助)：公益社団法人ひょうご被害者支援センター 事業内容：専用電話相談、医療費助成、医療機関等への同行支援、法律相談・心理相談等</p> <p>②医師向け専門研修等 委託先：特定非営利活動法人性暴力被害者支援センター・ひょうご 事業内容：産婦人科医師等向けの専門研修、メール相談等</p>						
これまでの改善状況	R3.10.1に内閣府が開設した夜間休日対応コールセンターとの連携により、相談受付を365日24時間体制とした。						
業務フロー	委託：県とひょうご被害者支援センター又は性暴力被害者支援センター・ひょうごとの委託契約 補助：申請(ひょうご被害者支援センター)→受付・審査(県)→交付(県)						
事業に要するコスト	区 分		3年度決算額	4年度決算額	5年度当初予算額	6年度当初予算額	
	事業費①		4,518千円	5,144千円	7,806千円	8,683千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	4,341千円	4,950千円	7,368千円	8,245千円	
		補助金・交付金	177千円	194千円	438千円	438千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(2,180千円)	(2,525千円)	(3,745千円)	(4,221千円)	
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(2,338千円)	(2,619千円)	(4,061千円)	(4,462千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		7,497千円	8,615千円	7,368千円	8,683千円	
	執行率((①/②)×100)		60.3%	59.7%	105.9%	100.0%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	
			8,225千円	8,257千円	8,619千円	8,720千円	
職員給与費 a	7,102千円	7,136千円	7,496千円	7,599千円			
賞与引当金繰入額 b	572千円	583千円	572千円	583千円			
退職手当引当金繰入額 c	551千円	538千円	551千円	538千円			
総コスト(①+③)		12,743千円	13,401千円	16,425千円	17,403千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 面接相談・同行支援件数	目標	—	60	60	60
実績（見込）			—	62	(60)	(60)	【各年度】
（単位当たりコスト）			—	(216 千円)	(274 千円)	(290 千円)	
達成率（見込）			—	103.3%	(100.0%)	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標②）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
指標	活動指標（アウトプット指標①） 性被害者等電話相談件数	目標	700	800	800	800	800
		実績（見込）	680	920	(900)	(800)	【各年度】
		（単位当たりコスト）	(19 千円)	(15 千円)	(18 千円)	(22 千円)	
		達成率（見込）	97.1%	115.0%	(112.5%)	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
目標	終期設定	有（ ） ・ 無 ()					
	改善基準						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	<p>○有効性（評価指標に対する実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など 	<p>性暴力被害者が心身のケア等を求める中、専門知識・経験を有する相談員が適切に支援を行っている。</p>		<p>・ 「よりよい」の小、中、高等学校に対する周知等、積極的な広報活動による認知度の高まりにより、電話相談件数や面接相談・同行支援件数は、概ね安定的に推移している。</p>			
課題・今後の方向性	<p>○効率性（最小のコストで最大の効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など 	<p>性暴力被害者への支援経験が豊富な民間団体へ委託している。</p>					
	<input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>説明：被害が潜在化しやすい分野であり、支援を必要としている人に「よりよい」の周知が必要であるため、引き続き広報に努める。</p>					

事務事業評価調査

事業名	芸術文化に親しむひょうご推進事業				部(局)	県民生活部	
					所管課	芸術文化課	
					担当班	芸術文化振興班	
					連絡先	078-362-3171	
開始年度	平成23年度	終了年度	—	関連計画等	芸術文化振興ビジョン		
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()					実施主体等	
事業目的	地域に偏ることなく、県内全体において、身近に芸術文化に親しむことのできる環境の充実を実現させることで人々の暮らしに潤いをもたらすとともに、芸術文化の振興を目指す。						
事業概要	県内に活動拠点を有し、一定の芸術文化活動の経歴を有する個人・グループに対し、舞台芸術の公演、美術作品の展示等の事業、メディア芸術の発表及び文芸作品の出版事業にかかる経費のうち会場費、印刷費等を補助する。						
これまでの改善状況	H25：会場利用料の実態から、より少額な補助金額区分を新設。 H26：補助金額が補助対象経費の1/2を超えていたため、補助金額の区分を見直し。過去の補助対象経費平均から、最高額の補助に必要な補助対象経費を減額。 R3：補助金額が補助対象経費の概ね1/2～1/3になるよう、補助金額の区分を見直し。 R4：オンラインによる申請を導入。						
業務フロー	申請（団体）→審査・交付決定（県）→事業実施・実績報告（団体）→審査・補助金額確定（県）						
事業に要するコスト	区 分		3 年度決算額	4 年度決算額	5 年度当初予算額	6 年度当初予算額	
	事業費①		14,470 千円	7,470 千円	8,040 千円	8,040 千円	
	経 費 内 訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		委託料	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		補助金・交付金	14,470 千円	7,470 千円	8,040 千円	8,040 千円	
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	（財源内訳）	（国庫）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（特定:宝くじ発行益収入）	(14,470千円)	(7,470千円)	(8,040千円)	(8,040千円)	
		（起債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		17,350 千円	8,040 千円	8,040 千円	8,040 千円	
	執行率（(①/②)×100）		83.4%	92.9%	100.0%	100.0%	
	人件費③（a+b+c）		従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	
			2,468 千円	2,477 千円	2,586 千円	2,616 千円	
職員給与費 a	2,131 千円	2,141 千円	2,249 千円	2,280 千円			
賞与引当金繰入額 b	172 千円	175 千円	172 千円	175 千円			
退職手当引当金繰入額 c	165 千円	161 千円	165 千円	161 千円			
総コスト（①+③）		16,938 千円	9,947 千円	10,626 千円	10,656 千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査における「暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていると思う人の割合」	目標	40	40	40	40
実績（見込）			37.1	39.0	(40)	(40)	【R7年度】
(単位当たりコスト)			(457 千円)	(255 千円)	(266 千円)	(266 千円)	
達成率（見込）			92.8%	97.5%	(100.0%)	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標②）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
指標	活動指標（アウトプット指標①） 鑑賞者数	目標	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000
		実績（見込）	27,282	23,791	(31,446)	(40,000)	令和7年度
		(単位当たりコスト)	(1 千円)	(0 千円)	(0 千円)	(0 千円)	
		達成率（見込）	68.2%	59.5%	(78.6%)	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②） 補助件数	目標	150	79	79	79	79
		実績（見込）	88	69	(78)	(79)	令和7年度
		(単位当たりコスト)	(192 千円)	(144 千円)	(136 千円)	(135 千円)	
		達成率（見込）	58.7%	87.3%	(98.7%)	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
目標	終期設定	有（ ） ・ 無					
	改善基準						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	県民の芸術文化活動を支援する事業として個人、団体からの需要も高く、非常に多くの申請が寄せられている。		コロナ禍が明け、本事業を活用したいという県民は少なくない。R5年度の見込みも含めて、補助件数の達成率は着実に上がっており、県内で芸術文化活動に取組む個人又は団体の日頃の成果を披露する場の形成に貢献できていると考える。今後もこのニーズを鑑み、補助件数・鑑賞者数ともに目標を達成したい。			
自己評価	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など	R5年度からは債権者登録オンライン申請も活用し、申請者負担の軽減に取り組んだ。					
	課題・今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他	説明 申請者からの意見を踏まえ、オンラインシステムを活用した申請の簡素化をさらに進めることで、より多くの県民に事業の活用を促していく。					
評価							

事務事業評価調書

事業名	県民芸術劇場の開催				部(局)	県民生活部	
					所管課	芸術文化課	
					担当班	芸術文化振興班	
					連絡先	078-362-3171	
開始年度	平成3年度	終了年度	—	関連計画等	芸術文化振興ビジョン		
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	(公財)兵庫県芸術文化協会	
事業目的	県内における芸術文化活動の向上発展と、心の豊かさを育むため、小学生、高校生、一般を対象に、音楽、演劇などの優れた舞台芸術を身近に鑑賞できる機会や参加・体験できる機会を提供するとともに、県内の舞台芸術団体等の育成、公立文化施設の活性化を図る。						
事業概要	公立文化施設、学校(小学校、高校)を対象に、当事業に登録された芸術文化団体の演目から選択し公演を開催する際の経費の一部を補助する。						
これまでの改善状況	H23：学校公演のうち中学校公演を当面の間停止(中学生を対象とする他事業があるため) R5：登録団体の活性化に向けた改善(新規団体募集、優秀団体公演の実施等)						
業務フロー	(公財)芸術文化協会より、地元主催者(学校・施設等)へ実施希望を調査、希望に応じて、公演団体への依頼、出演料の支払を行う。				<pre> graph TD A[県] -- ④補助 --> B[協会] B -- ②公演依頼 --> C[公演団体] B -- ③出演料支払 --> D[主催者] D -- ①希望調査 --> B </pre>		
事業に要するコスト	区 分		3年度決算額	4年度決算額	5年度当初予算額	6年度当初予算額	
	事業費①		26,350千円	17,896千円	35,442千円	28,471千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円	
		補助金・交付金	26,350千円	17,896千円	35,442千円	28,471千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(特定:芸術文化振興基金繰入金)	(26,350千円)	(17,896千円)	(35,442千円)	(28,471千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		28,770千円	17,896千円	35,442千円	28,471千円	
	執行率((①/②)×100)		91.6%	100.0%	100.0%	100.0%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	
		823千円	826千円	862千円	872千円		
職員給与費	a	710千円	714千円	750千円	760千円		
賞与引当金繰入額	b	57千円	58千円	57千円	58千円		
退職手当引当金繰入額	c	55千円	54千円	55千円	54千円		
総コスト(①+③)		27,173千円	18,722千円	36,304千円	29,343千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①）	目標	40	40	40	40
「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査における「暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていると思う人の割合」		実績（見込）	37	39	(40)	(40)	【R7年度】
		(単位当たりコスト)	(732 千円)	(480 千円)	(908 千円)	(734 千円)	
		達成率（見込）	92.8%	97.5%	(100.0%)	(100.0%)	
		成果指標（アウトカム指標②）	目標	—	—	90	90
学校公演の観客満足度（%）		実績（見込）	—	—	(90)	(90)	【R7年度】
		(単位当たりコスト)	—	—	(403 千円)	(326 千円)	
		達成率（見込）	—	—	(100.0%)	(100.0%)	
		成果指標（アウトカム指標③）	目標	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
	活動指標（アウトプット指標①）	目標	93	60	102	89	89
県民芸術劇場の公演数	実績（見込）	68	56	(74)	(89)	【R7年度】	
	(単位当たりコスト)	(400 千円)	(334 千円)	(491 千円)	(330 千円)		
	達成率（見込）	73.1%	93.3%	(72.5%)	(100.0%)		
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000
県民芸術劇場の鑑賞者数（21世紀兵庫長期ビジョンフォローアップ指標） ※県民文化普及事業との合算	実績（見込）	47,244	46,481	(120,000)	(120,000)	【R7年度】	
	(単位当たりコスト)	(1 千円)	(0 千円)	(0 千円)	(0 千円)		
	達成率（見込）	39.4%	38.7%	(100.0%)	(100.0%)		
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	510	510	510
1公演あたり平均観客数(人/公演)	実績（見込）	—	—	(510)	(510)	【R7年度】	
	(単位当たりコスト)	—	—	(71 千円)	(58 千円)		
	達成率（見込）	—	—	(100.0%)	(100.0%)		
	終期設定	有（ ） ・ 無（○）					
改善基準							
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	都市部に偏りがちな舞台芸術公演について、県内各地（R5：21市8町）で開催しており、県民が身近で優れた舞台芸術の鑑賞と参加・体験する機会を享受できている。 また、アンケート実施により、ニーズの把握や、結果のフィードバックによる演目の充実等につなげている。		コロナ禍の影響で、公演実績が伸び悩み達成率が低迷している状況にあるが、本来は学校等からのニーズの高い事業であり、コロナ禍収束に伴い徐々に回復していくものと考えている。			
己	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など	（公財）兵庫県芸術文化協会が中心となり事業を実施することで、同協会が有する文化施設・文化団体とのネットワークを活かした効率的な事業実施ができている。 また、一般公演は有料（入場料の上限あり）としており、受益者負担も適正に行っている。					
評価	課題・今後の方向性						
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 今後は、新たな公演団体の参画や公演内容の見直しを検討し、より魅力ある公演の実施を通じて、コロナ禍で減少した芸術文化団体の活動や県民の芸術鑑賞機会の回復に努めていく。						
評価							

事務事業評価調書

事業名	芸術文化センター創造・公演事業				部(局)	県民生活部	
					所管課	芸術文化課	
					担当班	企画運営班	
					連絡先	078-362-3146	
開始年度	平成17年度	終了年度	—	関連計画等	芸術文化振興ビジョン		
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	(公財)兵庫県芸術文化協会	
事業目的	自ら創造し、県民とともに創造する「パブリックシアター」をめざす芸術文化センターの根幹として、自主制作事業を始めとする公演事業を実施し、幅広い県民に提供する。						
事業概要	芸術文化センターにおいて、自主制作事業を始めとする公演事業を実施し、幅広い県民に提供するため、(公財)兵庫県芸術文化協会への補助を行う。						
これまでの改善状況	—						
業務フロー	申請(協会)→受付・審査(県)→交付(県)						
事業に要するコスト	区 分		3年度決算額	4年度決算額	5年度当初予算額	6年度当初予算額	
	事業費①		380,000千円	430,000千円	378,000千円	375,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円	
		補助金・交付金	380,000千円	430,000千円	378,000千円	375,000千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(特定・芸術文化センター事業基金繰入金、宝くじ発行益収入)	(380,000千円)	(430,000千円)	(378,000千円)	(375,000千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		380,000千円	430,000千円	378,000千円	375,000千円	
	執行率((①/②)×100)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員 12.0人	従事人員 12.0人	従事人員 12.0人	従事人員 12.0人	
			98,700千円	99,084千円	103,428千円	104,640千円	
職員給与費 a	85,224千円	85,632千円	89,952千円	91,188千円			
賞与引当金繰入額 b	6,864千円	6,996千円	6,864千円	6,996千円			
退職手当引当金繰入額 c	6,612千円	6,456千円	6,612千円	6,456千円			
総コスト(①+③)		478,700千円	529,084千円	481,428千円	479,640千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度目標	最終目標【年度】		
	価値	成果指標（アウトカム指標①）	目標	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	
芸術文化センター自主公演入館者数		実績（見込）	195,033	282,257	(440,000)	(300,000)	【各年度】		
		（単位当たりコスト）	(2千円)	(2千円)	(1千円)	(2千円)	/		
		達成率（見込）	65.0%	94.1%	(146.7%)	(100.0%)			
		目標	40	40	40	40		50	
成果指標（アウトカム指標②）		「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査における「暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていると思う人の割合」	実績（見込）	37.1	39.0	40.0	40.0	【R7年度】	
活動指標（アウトプット指標①）		年間ホール稼働日数	（単位当たりコスト）	(12,903千円)	(13,566千円)	(12,036千円)	(11,991千円)	/	
			目標	200	200	200	200		200
			実績（見込）	330	326	(330)	(330)		【R7年度】
			達成率（見込）	165.0%	163.0%	(165.0%)	(165.0%)		
活動指標（アウトプット指標②）			（単位当たりコスト）	--	--	--	--	/	
			目標	--	--	--	--		--
	実績（見込）		--	--	--	--	--		
	達成率（見込）		--	--	--	--			
目標	終期設定	有（ ） ・ ○無							
	改善基準								

自己評価	評価の視点	評価	目標に対する達成状況（総合的評価）
	評価	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	・ 利用者アンケート（R2・3年度は感染防止のため未実施）を踏まえて魅力ある公演づくりに取り組んでいる。 ・ R2・3は新型コロナの影響で事業の中止・延期を余儀なくされたが、予防対策を講じて公演を実施したほかやオンライン配信を行うなど県民のニーズに応じて事業を実施した。 ・ コロナ禍においても自主事業の実施や感染症予防対策により施設の稼働率は高かった。 ・ 舞台芸術専門劇場としての評価が観客及び国内外の芸術家にも定着しており、文化芸術振興の拠点となっている。 ・ 幅広い県民に公演を提供するという目的に対し、指標・目標設定は適切である。
○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など		・ 新型コロナウイルス感染症の影響のため事業中止が相次いだことにより、R2年度は総コストが低くなっているが、公演入場者数や稼働日数が少ないため各指標の単位当たりコストは大きくなった。 ・ R4年度は、R2年度に中止となった15周年事業の大型オペラ公演を行ったため、単位当たりコストは大きくなっている。 ・ チケット料金については事業目的や内容、券売率等の収支見込みを踏まえて適切に設定されている。 ・ ネーミングライツ収入をセンター事業基金積立の財源としている。 ・ 国等各種助成金を活用して事業を実施している。	

課題・今後の方向性

改善 他事業と統合 その他

説明

・引き続き、多彩な舞台芸術を創造・発信し、幅広いニーズに応える上演を行うとともに、舞台芸術の普及や県民創造活動の支援を行っていく。
 ・特に、若い観客を増やしていくために、ターゲット層のニーズに応じた魅力ある公演の実施やSNSの活用等を図っていく。

価値

事務事業評価調書

事業名	兵庫陶芸美術館企画・展覧会の実施				部(局)	県民生活部
					所管課	芸術文化課
					担当班	企画運営班
					連絡先	078-362-3146
開始年度	平成17年度	終了年度	—	関連計画等	—	
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	展覧会実行委員会
事業目的	陶芸をテーマとした展覧会を開催し、作品鑑賞を通して県民の豊かな感性を育むと共に、古くから盛んであった兵庫県のやきものの伝統と文化、そして貴重な技術を次世代に伝えることを目的とする。					
事業概要	立杭地域に集客が多い春季および秋季は、当館だけでは開催が困難な国内外の著名な陶磁器を紹介する巡回展や、学芸員の専門分野を活かした特別展を開催し、比較的集客が少ない夏季および冬季は、当館の収蔵品を中心とした特色ある展覧会を開催する。 常設展「丹波焼の世界」では、年1回の展示替えを行い、800年以上の歴史を誇る丹波焼の魅力を発信する。					
これまでの改善状況	陶芸（特に古陶磁）は根強いファンがいる一方、広がり欠けるほか、年齢層にも偏りが見られるため、陶芸の枠を越えた企画（フィンランド・デザイン展、ガラス工芸など）や幅広い展覧会を開催。					
業務フロー	企画・立案（県）→実行委員会に委託・交付（県）→実績報告（事業者）→実績確認・精算（県）					

区 分		3年度決算額	4年度決算額	5年度当初予算額	6年度当初予算額	
事業に要するコスト	事業費①	85,000千円	85,000千円	85,000千円	85,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円
		委託料	85,000千円	85,000千円	85,000千円	85,000千円
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(特定:兵庫陶芸美術館展覧会配分金、宝くじ発行益収入)	(53,210千円)	(50,176千円)	(60,000千円)	(60,000千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(31,790千円)	(34,824千円)	(25,000千円)	(25,000千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		85,000千円	85,000千円	85,000千円	85,000千円
	執行率 ((①/②) × 100)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	人件費③ (a+b+c)	従事人員	8.6人	8.6人	8.6人	8.6人
			70,735千円	74,123千円	74,123千円	74,992千円
職員給与費 a		61,077千円	64,586千円	64,466千円	65,351千円	
賞与引当金繰入額 b		4,919千円	4,988千円	4,919千円	5,014千円	
退職手当引当金繰入額 c		4,739千円	4,549千円	4,739千円	4,627千円	
総コスト (①+③)		155,735千円	159,123千円	159,123千円	159,992千円	

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度目標	最終目標【年度】	
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 施設内入場者数	目標	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
実績（見込）			113,799	85,917	(90,000)	(100,000)	【各年度】	
（単位当たりコスト）			(1千円)	(2千円)	(2千円)	(2千円)		
達成率（見込）			113.8%	85.9%	(90.0%)	(100.0%)		
成果指標（アウトカム指標②）		目標	—	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
指		活動指標（アウトプット指標①） 出前事業、展覧会鑑賞学習等の実施校数	目標	60	60	60	60	60
			実績（見込）	36	45	(41)	(60)	【各年度】
			（単位当たりコスト）	(4,326千円)	(3,536千円)	(3,881千円)	(2,667千円)	
			達成率（見込）	60.0%	75.0%	(68.3%)	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
	標	終期設定	有（ ） ・ 無					
		改善基準						
	自	評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）		
		○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など		令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響がわずかにみられたが、女性に人気の高い「オールドノリタケ」や「ルネ・ラリック」のガラス作品の他、現代陶芸の受贈記念展など多彩な展覧会を開催し、例年並みの入館者数を維持するとともに、アンケートでは高い評価を得た。		来館者数は展覧会の内容により左右され、令和4年度は目標値の86%に達し学校団体の利用も復活するなど徐々にコロナ禍前に近づきつつある。展覧会経費については、コスト削減に努め、文化庁補助金など外部資金も積極的に活用し財源確保に努めた。		
己	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など		展覧会経費は、展示構成費や運送費等的人件費が高騰する中でも、仕様や発注時期を見直してコスト削減を図るとともに、文化庁補助金等の外部資金を活用し財源確保にも努めた。さらに、展覧会の知名度を高めるため、関連イベントの実施やSNS等新しい広報媒体を使った情報発信などを行った。					
	課題・今後の方向性							
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
	説明	展覧会赤字の削減 ①展覧会経費の削減 ・ さらなる外部資金の確保 ・ 印刷物作成（ポスター、チラシ、カット図録等）の一括契約の検討 ・ 収蔵品のさらなる活用 ②観覧料収入確保 ・ 効果的な広報戦略の検討、実施 ・ 来館者の利便性を高めるため、キャッシュレス決済の導入						

事務事業評価調書

事業名	横尾忠則現代美術館企画・展覧会の実施				部(局)	県民生活部	
					所管課	芸術文化課	
					担当班	企画運営班	
					連絡先	078-362-3146	
開始年度	平成24年度	終了年度	—	関連計画等			
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	(公財)兵庫県芸術文化協会	
事業目的	横尾忠則氏の絵画を中心に、幅広く現代の表現に特化した展覧会を開催することを通して、世界的アーティストとの出会いを体験できる場を創出する。						
事業概要	兵庫県出身で世界的にも高く評価されている作家・横尾忠則氏の作品を鑑賞する機会を提供し、その魅力を広く発信するため、(公財)兵庫県芸術文化協会に展覧会開催経費を補助する。						
これまでの改善状況	横尾氏の作品を主とした展覧会が続くため、来館者の層が固定化してしまう面もあるが、展示・演出に工夫を凝らし魅力ある展覧会の企画に努めている。 SNS発信や動画作成、感染症対策を講じたイベント開催など、コロナ禍で落ち込んだ入館者数の回復に向けた積極的な取組を行い、令和4年度の入館者数は、前年度より1万人以上増加した。						
業務フロー	計画・申請(事業者)→受付・交付(県)→実施・実績報告(事業者)→交付額確定(県)						
事業に要するコスト	区 分		3年度決算額	4年度決算額	5年度当初予算額	6年度当初予算額	
	事業費①		24,000千円	24,000千円	24,000千円	24,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円	
		補助金・交付金	24,000千円	24,000千円	24,000千円	24,000千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(特定:宝くじ社会貢献広報事業費)	(5,000千円)	(5,000千円)	(5,000千円)	(5,000千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(19,000千円)	(19,000千円)	(19,000千円)	(19,000千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		24,000千円	24,000千円	24,000千円	24,000千円	
	執行率((①/②)×100)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員 6.1人	従事人員 6.1人	従事人員 6.1人	従事人員 6.1人	
			50,173千円	50,368千円	52,576千円	53,192千円	
職員給与費 a	43,322千円	43,530千円	45,726千円	46,354千円			
賞与引当金繰入額 b	3,489千円	3,556千円	3,489千円	3,556千円			
退職手当引当金繰入額 c	3,361千円	3,282千円	3,361千円	3,282千円			
総コスト(①+③)		74,173千円	74,368千円	76,576千円	77,192千円		

事務事業評価調査

評価	指標名	区分	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①）	目標	70,000	70,000	70,000	70,000
横尾忠則現代美術館入館者数 （地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI））		実績（見込）	44,385	57,675	(57,675)	(70,000)	【各年度】
		（単位当たりコスト）	(2千円)	(1千円)	(1千円)	(1千円)	
		達成率（見込）	63.4%	(82.4%)	(82.4%)	(100.0%)	
		目標	1,500	1,500	1,500	1,500	
成果指標（アウトカム指標②）		実績（見込）	499	1,228	(800)	(1,500)	【各年度】
展覧会関連事業参加者数		（単位当たりコスト）	(149千円)	(62千円)	(96千円)	(51千円)	
		達成率（見込）	33.3%	(81.9%)	(53.3%)	(100.0%)	
		目標	—	—	—	—	
成果指標（アウトカム指標③）		実績（見込）	—	—	—	—	—
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	目標	3	3	3	3	3	
評価	活動指標（アウトプット指標①）	実績（見込）	3	3	(3)	(3)	【各年度】
	展覧会実施回数	（単位当たりコスト）	(24,724千円)	(24,789千円)	(25,525千円)	(25,731千円)	
		達成率（見込）	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)	
		目標	—	—	—	—	
	活動指標（アウトプット指標②）	実績（見込）	—	—	—	—	—
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
		目標	—	—	—	—	
	活動指標（アウトプット指標③）	実績（見込）	—	—	—	—	—
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
		目標	—	—	—	—	
目標	終期設定	有（ ） ・ 無					
	改善基準						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など 		<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍により入場者数は減少したが、令和4年度に開館10周年を記念して開催した3本の展覧会は好調で、平成25年度に次ぐ歴代2位の入場者数を記録した。目標達成には至らなかったものの、令和4年度には前年度と比較し、入館者数を13,000人以上増やすことができた。 ・ 利用者ニーズの把握のために実施しているアンケート（紙、Web）で、利用者の満足度は高く、今後も展覧会の企画や広報に工夫していきたい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 横尾氏の作品に限定される制約はあるが、展示の見せ方を工夫するとともに、SNSを活用した広報に力を入れることにより、目標に達しなかったもののコロナ禍以前を上回る入館・入場数を確保している。 ・ 横尾忠則氏の作品を多数所蔵する唯一無二の美術館として、貴重な美術品や資料を適切に保存・展示し、県民に優れた作品の鑑賞機会を提供することができており、意義ある事業である。 	
自己評価	○効率性（最小のコストで最大の効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 年3本の展覧会は、規模に応じて事業費を調整し、総事業費を低減する工夫を行っている。 ・ 積極的に外部資金の獲得に努めており、令和5年度は（一財）地域創造の助成金を確保することができた。 			
	課題・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 { ・ 魅力的な展覧会の企画に加え、特に若い世代に向けたSNSを用いた発信やイベントを充実させることにより、入館者の増加を図る。 }					
評価							

事務事業評価調書

事業名	子ども伝統文化わくわく体験教室				部(局)	県民生活部	
					所管課	芸術文化課	
					担当班	芸術文化振興班	
					連絡先	078-362-3171	
開始年度	平成27年度	終了年度	—	関連計画等	芸術文化振興ビジョン		
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等		
事業目的	伝統文化団体が、小・中・高校の授業において行う伝統文化の体験事業の実施を支援することによって、伝統文化の若年層への浸透を図る。						
事業概要	伝統文化団体（いけばな、茶道等）を対象に、小・中・高校に講師を派遣し複数回の体験教室を行う際の経費の一部を補助する。						
これまでの改善状況	H28 分野追加（琴、日本舞踊、能・狂言）						
業務フロー	 <pre> graph TD A[希望調査] -- ① --> B[学校] B -- ② --> C[文化団体] C -- ③ --> B C -- ⑤ --> D[補助] D -- ② --> E[県] E -- ① --> B </pre>						
事業に要するコスト	区 分		3 年度決算額	4 年度決算額	5 年度当初予算額	6 年度当初予算額	
	事業費①		10,194 千円	7,545 千円	8,400 千円	8,400 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		委託料	1,265 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		補助金・交付金	8,929 千円	7,545 千円	8,400 千円	8,400 千円	
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(特定:芸術文化振興基金繰入金)	(10,194千円)	(7,545千円)	(8,400千円)	(8,400千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		11,120 千円	8,400 千円	8,400 千円	8,400 千円	
	執行率 ((①/②) × 100)		91.7%	89.8%	100.0%	100.0%	
	人件費③ (a+b+c)		従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	
			2,468 千円	2,477 千円	2,586 千円	2,616 千円	
職員給与費	a	2,131 千円	2,141 千円	2,249 千円	2,280 千円		
賞与引当金繰入額	b	172 千円	175 千円	172 千円	175 千円		
退職手当引当金繰入額	c	165 千円	161 千円	165 千円	161 千円		
総コスト (①+③)		12,662 千円	10,022 千円	10,986 千円	11,016 千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 【～R3】体験教室開催回数 「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査における「暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていると思う人の割合」	目標	175	50%	50%	50%
実績（見込）			159	(50.0%)	(50.0%)	(50.0%)	【R7年度】
(単位当たりコスト)			(80 千円)	(20,044 千円)	(21,971 千円)	(22,032 千円)	
達成率（見込）			90.9%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標②）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
指標	活動指標（アウトプット指標①） 体験教室実施校数 （地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI））	目標	70	60	60	60	80
		実績（見込）	69	61	(64)	(60)	【R7年度】
		(単位当たりコスト)	(184 千円)	(164 千円)	(172 千円)	(184 千円)	
		達成率（見込）	98.6%	101.7%	(106.7%)	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
目標	終期設定	有（ ） ・ 無（ ）					
	改善基準						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	R5年度も応募校が予定を大幅に上回っており（約1.8倍）、実施校数の目標値を達成する見込みである。事業実施後の学校アンケート（R4）でも「引き続き実施したい」との回答が100%であり、非常にニーズが高い。		学校では伝統文化を指導するための資材（琴など）や人材が乏しく、本事業が児童・生徒にとって伝統文化を実際に体験しながら学ぶ貴重な機会となっており、学校からも評価が高い。			
己	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など	各学校への周知は教育委員会を通じて行うなど、関係機関の協力を得て効率的な事業実施ができています。					
評価	課題・今後の方向性						
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明： 学校や文化団体の意見等を踏まえ必要に応じて事業の改善を図りながら、今後も引き続き若年層への伝統文化の浸透を図る。						
評価							

事務事業評価調書

事業名	舞台芸術鑑賞機会創出事業				部(局)	県民生活部
					所管課	芸術文化課
					担当班	芸術文化振興班
					連絡先	078-362-3171
開始年度	令和4年度	終了年度	令和6年度	関連計画等	芸術文化振興ビジョン	
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	(公財)兵庫県芸術文化協会
事業目的	青少年に身近な場所で舞台芸術を鑑賞する機会を提供するとともに、県内アーティストに発表の機会を提供し活動の活性化を図る。					
事業概要	文化ホール等の設置者、公演を主催する実行委員会を対象に、県内アーティストが出演する有料公演で、座席の一定数を学生向けに無料開放する公演にかかる経費の一部を補助する。					
これまでの改善状況	-					
業務フロー	 <pre> graph TD 事業者[事業者] -- 申請 --> 県[県] 県 -- 補助 --> 芸術文化協会[芸術文化協会] 芸術文化協会 -- 審査・交付決定 --> 事業者 </pre>					
事業に要するコスト	区 分		3年度決算額	4年度決算額	5年度当初予算額	6年度当初予算額
	事業費①		0千円	19,140千円	20,000千円	20,000千円
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円
		補助金・交付金	0千円	19,140千円	20,000千円	20,000千円
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円
	(財源内訳)	(国庫:地方創生臨時交付金)	(0千円)	(19,140千円)	(0千円)	(0千円)
		(特定:芸術文化振興基金繰入金、宝くじ発行益収入)	(0千円)	(0千円)	(20,000千円)	(20,000千円)
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)
	予算額② ※精算補正前の予算を記載			20,000千円	20,000千円	20,000千円
	執行率 ((①/②) × 100)		--	95.7%	100.0%	100.0%
	人件費③ (a+b+c)		従事人員	従事人員	従事人員	従事人員
			0千円	826千円	862千円	872千円
職員給与費	a	0千円	714千円	750千円	760千円	
賞与引当金繰入額	b	0千円	58千円	57千円	58千円	
退職手当引当金繰入額	c	0千円	54千円	55千円	54千円	
総コスト (①+③)		0千円	19,966千円	20,862千円	20,872千円	

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 本事業による鑑賞者数	目標	—	8,000	14,400	18,800
実績（見込）			—	8,701	(14,400)	(18,800)	【令和6年度】
（単位当たりコスト）			—	(2千円)	(1千円)	(1千円)	
達成率（見込）			—	108.8%	(100.0%)	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標②） 「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査における「暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていると思う人の割合」		目標	—	40	40	40	40
		実績（見込）	—	39	(40)	(40)	【令和6年度】
		（単位当たりコスト）	—	(512千円)	(522千円)	(522千円)	
		達成率（見込）	—	97.5%	(100.0%)	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
指標	活動指標（アウトプット指標①） 公演実施数	目標	—	40	40	40	40
		実績（見込）	—	33	(32)	(40)	【令和6年度】
		（単位当たりコスト）	—	(605千円)	(652千円)	(522千円)	
		達成率（見込）	—	82.5%	(80.0%)	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
目標	終期設定	有（令和6年度）					無
	改善基準						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など	クラシック音楽や伝統芸能、演劇など幅広いジャンルを支援しており、青少年が無料で気軽に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供できている。		青少年が優れた舞台芸術を鑑賞することができる貴重な機会となっており、鑑賞者数も目標を達成している。			
己	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫を行っているか など	必要書類のダウンロードや申請書のメール提出など、手続きのオンライン化による業務改善に取り組んでいる。また、補助率は1/2(上限額あり)としており、事業者にも応分の負担を求めている。					
課題・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他						
	説明	コロナ収束後の青少年の芸術文化鑑賞機会や若手アーティストの活動の場の状況等を踏まえ、存廃・再編も含めて事業の在り方を検討していく。					
評価							

事務事業評価調書

事業名	ひょうごプレミアム芸術デーの開催				部(局)	県民生活部	
					所管課	芸術文化課	
					担当班	企画運営班	
					連絡先	078-362-3146	
開始年度	令和4年度	終了年度	令和7年度	関連計画等	芸術文化振興ビジョン		
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	県・(公財)兵庫県芸術文化協会	
事業目的	県民が芸術文化に親しみ、より身近に感じられる機会を提供し、兵庫の魅力の再発見やふるさと意識に根ざした兵庫の文化の継承・発展を図り、芸術文化立県ひょうごの実現を目指す。						
事業概要	・芸術文化施設の無料開放、無料イベントの実施						
これまでの改善状況	R4年度は県立9施設のみで実施したが、R5年度は新たに趣旨に賛同する市町立施設・民間施設を対象を拡充し、計89施設で実施するとともに、障害のある方や子育て中の方が鑑賞しやすい環境づくりに取り組んだ。						
業務フロー	参加施設の募集・事業の広報 (広報印刷物予算：知事部局と教委で1：1) ↓ 対象施設の無料開放、無料イベントを実施						
事業に要するコスト	区 分		3年度決算額	4年度決算額	5年度当初予算額	6年度当初予算額	
	事業費①		0千円	7,346千円	8,495千円	9,910千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	0千円	6,814千円	6,821千円	7,328千円	
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	0千円	532千円	1,674千円	2,582千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(特定)(芸術文化振興基金、ふるさとひょうご寄附金)	(0千円)	(0千円)	(8,495千円)	(9,910千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)	(7,346千円)	(0千円)	(0千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		0千円	7,540千円	8,495千円	9,910千円	
	執行率((①/②)×100)		--	97.4%	100.0%	100.0%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員	従事人員	従事人員	従事人員	
			0千円	1.0人	1.0人	1.0人	
		0千円	8,257千円	8,619千円	8,720千円		
職員給与費 a			7,136千円	7,510千円	7,599千円		
賞与引当金繰入額 b			583千円	580千円	583千円		
退職手当引当金繰入額 c			538千円	529千円	538千円		
総コスト(①+③)		0千円	15,603千円	17,114千円	18,630千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 住んでる市・町で、芸術文化に接する機会があると思う人の割合（R4～暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っている人の割合）	目標	—	50%	50%	50%
実績（見込）			—	39.0%	37.6%	(50.0%)	
(単位当たりコスト)			—	(40,008千円)	(45,516千円)	(37,260千円)	
達成率（見込）			—	78.0%	(75.2%)	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標②）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	—
		達成率（見込）	—	—	—	—	—
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	—
		達成率（見込）	—	—	—	—	—
指標	活動指標（アウトプット指標①） 各施設入館者数（芸術文化センター、兵庫陶芸美術館、横尾忠則現代美術館、尼崎青少年創造劇場）	目標	—	603,000	603,000	603,000	603,000 【R7年度】
		実績（見込）	—	502,359	(664,524)	(603,000)	
		(単位当たりコスト)	—	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		達成率（見込）	—	83.3%	(110.2%)	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	—
		達成率（見込）	—	—	—	—	—
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	—
		達成率（見込）	—	—	—	—	—
目標	終期設定	○有（第3期芸術文化振興ビジョンの終期）					無
	改善基準	—					
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度は民間・市町立施設にも対象を拡充して実施し、6万人を超える方が参加しており、県民のニーズを踏まえた事業である。 一時保育や手話通訳付き解説会などにより、障害のある方や子育て中の方が鑑賞しやすい環境づくりに取り組んでおり、アンケートにおいても、高い評価を得ている。 		令和5年度の施設入館者数は目標を達成見込であり、芸術文化に接する機会があると思う人の割合も、事業実施前（37.1%）より増加しており、県民が芸術文化に親しみ、より身近に感じられる機会となっている。県民が芸術文化に触れる機会が増加することにより、兵庫の魅力の再発見や、若者への兵庫の文化の継承・発展にも繋がっている。			
己	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫を行っているか など	<ul style="list-style-type: none"> 各施設において、施設における専門人材を活用しながら事業を実施している。 ふるさと寄附による財源確保を、令和5年度より新たに開始している。 					
評価	課題・今後の方向性						
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 <ul style="list-style-type: none"> ・障害のある方や子育て中の方等の芸術文化にふれる機会の拡大のため、更なる環境づくりに努める。 ・文化の裾野をより広げるため、イベントの充実を図る。 ・県民への周知を図るため、広報を充実する。 						
評価							

事務事業評価調書

事業名	アートで躍動Z世代文化部応援プロジェクト				部(局)	県民生活部	
					所管課	芸術文化課	
					担当班	芸術文化振興班	
					連絡先	078-362-3171	
開始年度	令和6年度	終了年度	令和8年度	関連計画等	芸術文化振興ビジョン		
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	県	
事業目的	Z世代をはじめとする若者の芸術文化活動を支援するため、リアルとデジタルの双方で、若者の芸術文化作品の発表の場を新たに創出するとともに、部活動の地域移行も見据えつつ、多様な分野で専門指導者による指導を行い、本県の優れた芸術文化を継承・発展につなげる。						
事業概要	(1)文化系Z世代の発表の場の創出 ①“リアル”での発表の場の拡大(作品展示及び発表会) ②“デジタル”での発表の場の開設(インスタグラム等) (2)文化部合同練習会への支援 複数の高校が共同で実施する文化部合同練習会等に、各分野の専門指導者を講師として派遣						
これまでの改善状況	-						
業務フロー	民間事業者に委託し、事業を実施						
事業に要するコスト	区 分		3年度決算額	4年度決算額	5年度当初予算額	6年度当初予算額	
	事業費①		0千円	0千円	0千円	8,377千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	0千円	0千円	0千円	8,377千円	
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(8,377千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		0千円	0千円	0千円	8,377千円	
	執行率((①/②)×100)		--	--	--	100.0%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員	従事人員	従事人員	従事人員	0.3人
			0千円	0千円	0千円	2,616千円	
職員給与費 a					2,280千円		
賞与引当金繰入額 b					175千円		
退職手当引当金繰入額 c					161千円		
総コスト(①+③)		0千円	0千円	0千円	10,993千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度目標	最終目標【年度】	
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査における「暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っていると思う人の割合」	目標				40	50 【R8年度】
実績（見込）						(40)		
(単位当たりコスト)			--	--	--	(275 千円)		
達成率（見込）			--	--	--	(100.0%)		
成果指標（アウトカム指標②）		目標						
		実績（見込）						
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--		
		達成率（見込）	--	--	--	--		
成果指標（アウトカム指標③）		目標						
		実績（見込）						
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--		
		達成率（見込）	--	--	--	--		
指	活動指標（アウトプット指標①） 発表会の出演団体数	目標				30	40 【R8年度】	
		実績（見込）				(30)		
		(単位当たりコスト)	--	--	--	(366 千円)		
		達成率（見込）	--	--	--	(100.0%)		
	活動指標（アウトプット指標②）	目標						
		実績（見込）						
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--		
		達成率（見込）	--	--	--	--		
	活動指標（アウトプット指標③）	目標						
		実績（見込）						
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--		
		達成率（見込）	--	--	--	--		
標	終期設定	有（令和8年度）					無	
	改善基準							
自	評価の視点		評価			目標に対する達成状況（総合的評価）		
	○有効性（評価指標に対する実績） ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など		・「強い承認欲求」や「デジタルネイティブ」などZ世代の特徴を踏まえ、リアルとデジタルの双方で、若者の芸術文化作品の発表の場を新たに創出。					
己	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫を行っているか など		・企画提案コンペを実施し、民間のノウハウを生かした展示会・発表会の開催や、SNS等を活用した広報を実施することにより、効率的・効果的に事業を推進。 ・民間企業から寄附を募り、当該事業の事業費の一部に充当予定。					
	課題・今後の方向性							
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他							
	説明	参加者からの意見を踏まえ、Z世代や文化部で活動する高校生のニーズに合わせて事業を展開し、芸術文化の裾野の拡大に努める。						

事務事業評価調書

事業名	兵庫ひきこもり相談支援センターの運営				部(局)	県民生活部	
					所管課	男女青少年課	
					担当班	青少年育成班	
					連絡先	078-362-3143	
開始年度	平成26年度	終了年度	—	関連計画等			
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	(公財)兵庫県青少年本部、NPO等	
事業目的	ひきこもり対策を推進するための体制を整備するため、第一次相談窓口としての役割を担う「センター」を設置し、ひきこもり本人や家族等を支援することにより、ひきこもり本人の自立を推進し、本人及び家族等の福祉の増進を図る。						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・保健・医療、福祉、教育、雇用等32機関で構成する「ひょうごユースケアネット推進会議（兵庫ひきこもり相談支援センター連絡協議会）」のネットワークを生かし、青少年を中心とするひきこもり当事者や家族への支援に努めている。 ・青少年のための総合相談として電話相談、来所相談、訪問支援を実施している。 						
これまでの改善状況	R4：市町単位で相談窓口が設置されるようになったことを受け、事業の効率化を図るため、ほっとらいん相談実施日を週5から週3に変更 R6：学校との連携強化のため、青少年悩み対策カウンセラーを地域ランチ5箇所各1名配置						
業務フロー	<ul style="list-style-type: none"> ・保健・医療、福祉、教育、雇用等32機関で構成する「ひょうごユースケアネット推進会議（兵庫ひきこもり相談支援センター連絡協議会）」のネットワークを生かし、兵庫県青少年本部を中心に運営。 ・電話相談は、（公財）兵庫県青少年本部、面接相談や訪問支援は、NPO等民間支援団体の協力を得て、県内5地域で展開。 						
事業に要するコスト	区 分		3年度決算額	4年度決算額	5年度当初予算額	6年度当初予算額	
	事業費①		15,621千円	14,124千円	11,497千円	30,501千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	15,621千円	14,124千円	11,497千円	30,501千円	
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(8,850千円)	(6,819千円)	(5,748千円)	(7,750千円)	
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(8,851千円)	(6,820千円)	(5,749千円)	(22,751千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		15,621千円	13,639千円	11,497千円	30,501千円	
	執行率 ((①/②) × 100)		100.0%	103.6%	100.0%	100.0%	
	人件費③ (a+b+c)		従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	
			8,225千円	8,257千円	8,619千円	8,720千円	
職員給与費	a	7,102千円	7,136千円	7,496千円	7,599千円		
賞与引当金繰入額	b	572千円	583千円	572千円	583千円		
退職手当引当金繰入額	c	551千円	538千円	551千円	538千円		
総コスト (①+③)		23,846千円	22,381千円	20,116千円	39,221千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①）	目標	120	72	72	72
電話相談の新規件数		実績（見込）	166	95	(64)	(72)	【各年度】
		(単位当たりコスト)	(144 千円)	(236 千円)	(314 千円)	(545 千円)	
		達成率（見込）	138.3%	131.9%	(88.9%)	(100.0%)	
		成果指標（アウトカム指標②）	目標	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
		成果指標（アウトカム指標③）	目標	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
	活動指標（アウトプット指標①）	目標	1,250	750	750	750	750件
ほっとらいん相談件数	実績（見込）	1,027	663	(596)	(750)	【各年度】	
	(単位当たりコスト)	(23 千円)	(34 千円)	(34 千円)	(52 千円)		
	達成率（見込）	82.2%	88.4%	(79.5%)	(100.0%)		
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500件
来所相談件数	実績（見込）	1,718	2,314	(3,436)	(1,500)	【各年度】	
	(単位当たりコスト)	(14 千円)	(10 千円)	(6 千円)	(26 千円)		
	達成率（見込）	114.5%	154.3%	(229.1%)	(100.0%)		
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—
	実績（見込）	—	—	—	—	—	
	(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
	達成率（見込）	—	—	—	—		
	終期設定	有 () ・ (無)					
改善基準							
自己評価	評価の視点	評価					目標に対する達成状況（総合的評価）
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校の数が増えている中、電話相談や来所・訪問相談の必要性も高まっているため、県が公的な相談機関を運営する意義は高く、引き続き事業の実施は必要である。第一次相談窓口として、ひきこもり当事者や家族への支援、県内の様々な支援窓口や居場所等の情報提供を行っているが、相談機関につながらない要支援者にさらなる窓口の周知が必要である。 ・ 民間活力を活用するため、NPOに相談業務を委託している。 ・ ひきこもり支援の特性上、コスト削減、受益者負担は難しいところがあるが、国庫活用で財源を確保し、ひきこもりサポーター育成など、支援者（ボランティア）の育成等に努めている。 ・ 市町単位で相談窓口が設置されるようになったことを受け、R4～ほっとらいん相談実施日を週5から週3にした。 					<ul style="list-style-type: none"> ・ ほっとらいん相談については、相談件数が目標を達成できていないので、効果的な窓口の周知に努めることにより、特に新規相談者の利用を進める。 ・ 来所相談、訪問相談業務をNPO法人に委託することにより、地域の実情に応じた相談業務を実施することができた。 ・ 令和4年度のほっとらいん相談（663件）のうち、87.6%にあたる581件が他所へつなぐことなく当該相談のみで解決に至っており、高い割合でワンストップ相談とすることができた。
○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など							
課題・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他						
	説明	<p>県内に推計約6.3万人の方がひきこもり状態にあるとされており、相談業務につながらない潜在的なひきこもり者を相談窓口へ誘導し支援につなげるため、広く一般にひきこもり相談について周知を図り、気軽に相談できる支援体制を構築していく。</p> <p>R6は、学校との連携を強化し、ひきこもり者への早期アプローチに努める。</p>					

事務事業評価調書

事業名	SDGs HYOGO 青年チャレンジ事業				部(局)	県民生活部	
					所管課	男女青少年課	
					担当班	青少年育成班	
					連絡先	078-362-3143	
開始年度	令和5年度	終了年度	—	関連計画等	—		
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	兵庫県青少年本部	
事業目的	①SDGsの理念を基に課題解決に取り組む団体等と連携して、SDGsを切り口として、若者の今日的な課題に向けた関心や地域貢献への意識を高める ②青年団体やNPO等が参画し、相互理解を深め、様々な知識や経験を蓄積し、ネットワークを広げて新たな価値観を活動に取り入れていけるリーダーを育成する						
事業概要	SDGsに関する事業に取り組む青年主体の団体を公募し、これらの団体が地域住民、NPO法人、企業、行政等と連携して、事業実施する体制を支援 《運営団体》青少年団体・グループなど 《助成予定団体》10団体程度 《助成額》400千円(上限)／団体(定額補助)						
これまでの改善状況	—						
業務フロー	(公財) 兵庫県青少年本部への補助 (1) 兵庫県青少年本部による公募・補助 SDGsに関する課題に取り組む団体を公募→選定(兵庫県青少年本部等で構成する選定委員会)→助成 (2) チャレンジサポーターによる団体へのサポート 青少年団体と地域の既存団体等との交流機会の創設、その他SNSによる情報発信など						
事業に要するコスト	区 分		3年度決算額	4年度決算額	5年度当初予算額	6年度当初予算額	
	事業費①		0千円	0千円	7,135千円	5,061千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円	
		補助金・交付金	0千円	0千円	4,000千円	2,400千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	0千円	0千円	3,135千円	2,661千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(7,135千円)	(5,061千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載				7,135千円	5,061千円	
	執行率((①/②)×100)		--	--	100.0%	100.0%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員		従事人員	0.2人	従事人員
		0千円	0千円	1,724千円	1,744千円		
職員給与費 a				1,499千円	1,520千円		
賞与引当金繰入額 b				114千円	117千円		
退職手当引当金繰入額 c				110千円	108千円		
総コスト(①+③)		0千円	0千円	8,859千円	6,805千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度目標	最終目標【年度】	
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 事業参画者数 （団体青年数+企画事業への参加者数）	目標	—	—	1,000	1,000	1,000
実績（見込）			—	—	(800)	(1,000)	【各年度】	
（単位当たりコスト）			--	--	(11 千円)	(7 千円)	/	
達成率（見込）			--	--	(80.0%)	(100.0%)		
成果指標（アウトカム指標②） 若年層のリーダー育成数 （団体青年数）		目標	—	—	100	100	100	
		実績（見込）	—	—	(142)	(100)	【各年度】	
		（単位当たりコスト）	--	--	(62 千円)	(68 千円)	/	
		達成率（見込）	--	--	(142.0%)	(100.0%)		
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	/	
		達成率（見込）	--	--	--	--		
指標	活動指標（アウトプット指標①） 補助団体数	目標	—	—	10	10	10	
		実績（見込）	—	—	(9)	(10)	【各年度】	
		（単位当たりコスト）	--	--	(984 千円)	(681 千円)	/	
		達成率（見込）	--	--	(90.0%)	(100.0%)		
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	/	
		達成率（見込）	--	--	--	--		
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	/	
		達成率（見込）	--	--	--	--		
目標	終期設定	有（ ） ・ 無（○）						
	改善基準	目標値の概ね8割程度の達成にとどまった場合、補助制度ほか実施体制の見直しを行う						
自己評価	評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など		SDGsに関する課題に取り組む「青年チャレンジ隊」が活動を通じて、地域の既存団体や地域住民との活動連携の機会を得つつ、相互理解を深め、様々な実践活動に取り組むことができていることから、県の次世代を担う青少年育成の取組として有効である。		・ 補助団体数は目標より少なかったが、各団体活動における青年参加者が多くみられたため、リーダー育成数は目標を大きく上回っており、“ネットワークを広げて新たな価値観を活動に取り入れていける人材”の育成に繋げることができている。			
己		○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など		地域団体やNPO、企業等と連携することで、効率的に実施できており、また、補助終了後も活動を継続できる体制となっている。				
評価	課題・今後の方向性							
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明：今年度の採択団体・参加青年の活動状況等をふまえ、補助体制のあり方について検討する。また、地元との連携強化や、取り組みの持続性及び発展性を重視した事業展開を通じて、県内地域の活性化と青年リーダーの育成を目指す。							
評価								

事務事業評価調書

事業名	子どもの冒険ひろばの推進				部(局)	県民生活部	
					所管課	男女青少年課	
					担当班	青少年育成班	
					連絡先	078-362-3143	
開始年度	平成15年度	終了年度	令和7年度	関連計画等			
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	兵庫県青少年本部	
事業目的	①運営団体の財政基盤が脆弱であることに加えて、地域の子育て支援機能の強化を図るため、市町との連携を推進し、協働で体験する機会を増やすなど、ひろばを通じて子どもたちの「ふるさと意識」の確立に取り組む。 ②課題を抱える青少年の居場所としての機能強化を図る。						
事業概要	地域ぐるみの子育てを推進するため、身近な地域の大人が見守る中、子どもたちが自由な発想でのびのびと遊ぶ「子どもの冒険ひろば」の運営を支援 《運営団体》NPO、青少年団体・グループなど 《助成団体数》40団体程度 (R1:43団体 R2:42団体 R3:41団体 R4:36団体) 《助成額》300千円(上限)／団体(定額補助)						
これまでの改善状況	令和4年度に補助上限額を1団体あたり400千円から300千円に変更						
業務フロー	(公財)兵庫県青少年本部への補助 (1)兵庫県青少年本部による助成 子どもの冒険ひろば実施団体の公募→「子どもの冒険ひろば」補助事業実施団体審査会により選定→採択 (2)子ども・若者ひろば相談員の設置 個々の運営団体に応じた相談対応、活動に対する指導・助言機能の充実・強化を図るとともに、全県ネットワークの形成に向けたひろば間の連絡・調整等を実施						
事業に要するコスト	区 分		3年度決算額	4年度決算額	5年度当初予算額	6年度当初予算額	
	事業費①		27,449千円	20,368千円	12,057千円	8,038千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円	
		補助金・交付金	26,349千円	19,500千円	9,460千円	6,617千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	1,100千円	868千円	2,597千円	1,421千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(27,449千円)	(20,368千円)	(12,057千円)	(8,038千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		27,449千円	20,368千円	12,057千円	8,038千円	
	執行率((①/②)×100)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員 0.6人	従事人員 0.6人	従事人員 0.5人	従事人員 0.5人	
		4,935千円	5,171千円	4,310千円	4,360千円		
職員給与費 a	4,261千円	4,506千円	3,748千円	3,800千円			
賞与引当金繰入額 b	343千円	348千円	286千円	292千円			
退職手当引当金繰入額 c	331千円	317千円	276千円	269千円			
総コスト(①+③)		32,384千円	25,539千円	16,367千円	12,398千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度目標	最終目標【年度】	
	価値	成果指標（アウトカム指標①）	目 標	46,000	46,000	46,000	46,000	46,000
「子どもの冒険ひろば」の利用者数		実績（見込）	34,815	32,233	(25,661)	(25,661)	【令和7年度】	
		(単位当たりコスト)	(1千円)	(1千円)	(1千円)	(0千円)		
		達成率（見込）	75.7%	70.1%	(55.8%)	(55.8%)		
		達成率（見込）	75.7%	70.1%	(55.8%)	(55.8%)		
成果指標（アウトカム指標②）		目 標	—	—	—	—	—	
「子どもの冒険ひろば」の利用者数		実績（見込）	—	—	—	—	—	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
指		活動指標（アウトプット指標①）	目 標	650	650	675	685	690箇所
		「子どもの冒険ひろば」の開設箇所数	実績（見込）	678	680	(682)	(685)	【令和7年度】
	(単位当たりコスト)		(48千円)	(38千円)	(24千円)	(18千円)		
	達成率（見込）		104.3%	104.6%	(101.0%)	(100.0%)		
	達成率（見込）		104.3%	104.6%	(101.0%)	(100.0%)		
	活動指標（アウトプット指標②）	目 標	—	—	—	—	—	
	「子どもの冒険ひろば」の開設箇所数	実績（見込）	—	—	—	—	—	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
	標	終期設定	(有) (令和7年度)					無
		改善基準						
自己	評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	<p>○有効性（評価指標に対する実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など 		<p>大人の見守りがあることで、身近で自由に遊べる安全な環境が確保されている。同年代の子ども達との交流による協調性の向上や、自然や野外活動に興味を持つきっかけとなる等、子どもの健全な成長に有効的である。</p>					
<p>○効率性（最小のコストで最大の効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の目的、効果の維持を図るため、運営団体においては地域資源(企業、福祉、学校)と連携することで、経費のかからない運営の工夫を行うとともに、事業実施団体である兵庫県青少年本部でも運営の補助を行うスタッフの養成研修を行うなど、人材確保を進めることにより、効率運営に努めている。 ・ 県政改革方針に基づき、令和7年度での廃止が決定しているが、当該事業の意義やノウハウを継承するため、企業や地域と連携した新たな事業のあり方について、別途検討中。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍であったこともあり、目標値の7割程度の達成にとどまった。引き続き、コロナの影響の緩和後の達成状況を注視し、実績減がコロナ禍の影響によるものか、他に要因があるのか、今後分析していく。 				
評価	課題・今後の方向性							
	<input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
価値	<p>説明</p> <p>県政改革方針に基づき、令和7年度での廃止が決定しているが、20年にわたり実施してきた事業の意義や地域におけるノウハウを維持するため、令和5年度に「ひょうごっ子野外活動推進委員会」を設置し、国委託事業を活用して今後の事業のあり方について検討中である。助成金や協賛金の獲得等により自立運営できる体制の構築を推進し、段階的に補助金事業を縮小しながら、令和6～7年度以降も検討を継続し、令和7年末の事業廃止後も取組みの継続を図る。</p> <p>(検討状況) R5 ひろば事業の効果検証、新事業の事業検討 R6 新事業実施検討、モデル事業の実施 R7 モデル事業の検証、新事業の実施内容確定</p>							

事務事業評価調書

事業名	女性の就業サポート事業				部(局)	県民生活部				
					所管課	男女青少年課				
					担当班	男女共同参画班				
					連絡先	078-362-3160				
開始年度	平成24年度	終了年度	—	関連計画等	第4次兵庫県男女共同参画計画「ひょうご男女いきいきプラン2025」					
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業									
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	県				
事業目的	出産や育児等による離職や就労不安などに悩む女性を対象に、再就業や起業を支援する。									
事業概要	県立男女共同参画センターの「女性就業相談室」において、女性の再就職や起業、在宅ワークなどへのチャレンジに関する個別相談、各種セミナーの開催、ハローワークと連携した職業紹介等の実施									
これまでの改善状況	H25.8～ 兵庫労働局との連携により、女性就業相談室内にハローワーク相談窓口を開設									
業務フロー	相談(県民) → 受付(県) → 職業紹介(県、ハローワーク)									
事業に要するコスト	区 分		3年度決算額		4年度決算額		5年度当初予算額		6年度当初予算額	
	事業費①		19,615千円		18,614千円		19,148千円		19,614千円	
	経費内訳	報酬・賃金	8,583千円		8,583千円		8,822千円		10,371千円	
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円	
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他	11,032千円		10,031千円		10,326千円		9,243千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(特定)	(19,615千円)		(18,614千円)		(19,148千円)		(19,614千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		19,615千円		18,614千円		19,148千円		19,614千円	
	執行率((①/②)×100)		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人	従事人員	0.2人
			1,645千円		1,651千円		1,724千円		1,744千円	
職員給与費	a	1,420千円		1,427千円		1,499千円		1,520千円		
賞与引当金繰入額	b	114千円		117千円		114千円		117千円		
退職手当引当金繰入額	c	110千円		108千円		110千円		108千円		
総コスト(①+③)		21,260千円		20,265千円		20,872千円		21,358千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 女性就業相談室の支援による就職者数	目標	200	200	200	200
実績（見込）			235	247	(200)	(200)	【令和6年度】
（単位当たりコスト）			(90 千円)	(82 千円)	(104 千円)	(107 千円)	
達成率（見込）			117.5%	123.5%	(100.0%)	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標②）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
指標	活動指標（アウトプット指標①） 女性就業相談室利用者数	目標	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
		実績（見込）	9,631	11,153	(11,000)	(11,000)	【令和6年度】
		（単位当たりコスト）	(2 千円)	(2 千円)	(2 千円)	(2 千円)	
		達成率（見込）	87.6%	101.4%	(100.0%)	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
目標	終期設定	有（ ） ・ 無					
	改善基準						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	女性就業支援員・保育支援員の配置やベビーカーを横に求人検索や職業相談が受けられる広いスペースにキッズコーナーが隣接、授乳室や絵本コーナーもあり、子育て中の女性が利用しやすい環境が整備されている。		女性就業相談室内において、相談・情報提供から各種セミナーの開催、職業紹介までワンストップで支援する窓口として機能しており、通常は子ども連れではハローワークへ来所しづらい女性からも、安心して利用できること好評を得ている。女性就業相談室の支援による就職者数は毎年度200人を目標値として設定しているが、目標どおりに推移している。 【実績：R2:241人、R3:235人、R4:247人】			
○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など	女性就業相談室に女性就業支援員・保育支援員の配置に加え、ハローワーク相談窓口を併設し、相談・情報提供から、各種セミナーの開催、職業紹介までワンストップで切れ目のない効率的な事業実施が実現できている。						
評価	課題・今後の方向性						
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 就業している女性割合の向上を県プランでも目標設定している中で、女性の就業は進んでいるが、女性全体の有業率で見ると50.2%（全国39位）と未だ低水準にとどまっている。（R4就業構造基本調査）「就業を希望しながら働いていない女性」の「働きたい」との希望を実現する支援として、引き続き重点的に取り組む必要がある。						
評価							

事務事業評価調書

事業名	ひょうご女性の活躍推進事業				部(局)	県民生活部	
					所管課	男女青少年課	
					担当班	男女共同参画班	
					連絡先	078-362-3160	
開始年度	平成27年度	終了年度	—	関連計画等	第4次兵庫県男女共同参画計画「ひょうご男女いきいきプラン2025」		
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	県	
事業目的	県における「女性の活躍」を一層促進するため、社会全体の気運の醸成を図るとともに、職場における意識改革や女性の登用促進、働きやすい職場環境整備等の企業の取組を推進する。また、女性がその希望に応じて仕事と家庭とを両立でき、個性と能力を十分に発揮できる社会の実現と女性の兵庫への定着を目指す。						
事業概要	県立男女共同参画センター内に設置した女性活躍推進センター（H28.6～）を中心に、企業の自主的取組の促進やキャリアアップを目指す女性の支援、次世代を担う女子学生への啓発等を行う。また、令和4年度からは「ひょうご・こうべ女性活躍推進企業（ミモザ企業）認定制度」を創設し、企業が自己診断により、現状を数値化・見える化し、一定基準に達した企業を認定することで、企業の女性活躍推進に向けた取組を後押しする。						
これまでの改善状況	H28.6 県立男女共同参画センター内に女性活躍推進センターを設置し、同センターには女性活躍推進専門員を配置 R1 女性の活躍企業育成プロジェクトの実施 R4 「ひょうご・こうべ女性活躍推進企業（ミモザ企業）認定制度」の創設、企業の女性社員向け階層別研修会の開始						
業務フロー	<ul style="list-style-type: none"> 企業の取組支援、セミナーや研修の実施：女性活躍推進センター（専門員による企業訪問 → 個別相談 → セミナー企画 → 専門講師の派遣 → セミナー実施） ひょうご・こうべ女性活躍推進企業（ミモザ企業）認定制度：県直執行 						
事業に要するコスト	区 分		3年度決算額	4年度決算額	5年度当初予算額	6年度当初予算額	
	事業費①		26,470千円	20,544千円	25,892千円	37,088千円	
	経費内訳	報酬・賃金	4,628千円	10,081千円	12,691千円	14,315千円	
		委託料	258千円	314千円	719千円	4,927千円	
		補助金・交付金	223千円	245千円	1,500千円	1,500千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	21,361千円	9,904千円	10,982千円	16,346千円	
	（財源内訳）	（国庫）	(16,156千円)	(5,316千円)	(8,040千円)	(8,000千円)	
		（特定）	(223千円)	(245千円)	(1,500千円)	(2,066千円)	
		（起債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（一般財源）	(1,091千円)	(14,983千円)	(16,352千円)	(27,022千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		26,132千円	22,095千円	25,892千円	37,088千円	
	執行率（(①/②)×100）		101.3%	93.0%	100.0%	100.0%	
	人件費③（a+b+c）		従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	
			2,468千円	2,477千円	2,586千円	2,616千円	
職員給与費	a	2,131千円	2,141千円	2,249千円	2,280千円		
賞与引当金繰入額	b	172千円	175千円	172千円	175千円		
退職手当引当金繰入額	c	165千円	161千円	165千円	161千円		
総コスト（①+③）		28,938千円	23,021千円	28,478千円	39,704千円		

事務事業評価調査

評価	指標名	区分	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度目標	最終目標【年度】	
	評価	成果指標（アウトカム指標①）	目標	—	20	20	25	25
民間における女性管理職比率 （ひょうご男女いきいきプラン2025（R3～R7）） ※直近値：19.1%（R4）		実績（見込）	—	19	(20)	(25)	【令和7年度】	
		（単位当たりコスト）	—	(1,205千円)	(1,424千円)	(1,588千円)	/	
		達成率（見込）	—	95.5%	(100.0%)	(100.0%)		
成果指標（アウトカム指標②）		目標	—	30	50	50	50	
ひょうご・こうべ女性活躍推進企業 （ミモザ企業）認定数（R4～）		実績（見込）	—	70	(50)	(50)	【単年度】	
		（単位当たりコスト）	—	(329千円)	(570千円)	(794千円)	/	
		達成率（見込）	—	233.3%	(100.0%)	(100.0%)		
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—	
評価			実績（見込）	—	—	—	—	—
			（単位当たりコスト）	—	—	—	—	/
			達成率（見込）	—	—	—	—	
	活動指標（アウトプット指標①）		目標	—	60	90	90	90
中小企業等の階層別女性社員研修会 参加者数（R4～）	実績（見込）	—	104	(90)	(90)	【単年度】		
	（単位当たりコスト）	—	(221千円)	(316千円)	(441千円)	/		
	達成率（見込）	—	173.3%	(100.0%)	(100.0%)			
活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—	—		
評価		実績（見込）	—	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	/	
		達成率（見込）	—	—	—	—		
		活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—
評価		実績（見込）	—	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	/	
		達成率（見込）	—	—	—	—		
		終期設定	有（ ） ・ 無					
改善基準								
自己	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）				
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	「女性活躍推進センター」を中心に、女性活躍推進専門員が、企業への個別訪問や課題解決のためのトップ層の意識改革や女性社員のモチベーション向上のための研修を実施するなど、総合的な支援や女性活躍の底上げに繋げている。		女性活躍推進専門員による企業訪問等を通じて、女性活躍に向けた取組が広く県内企業に波及している。また、新たに創設した認定企業については、経済・労働等の各種団体と連携により普及を推進することによって広がりを見せており、「女性の活躍推進」に向けた意識が醸成されつつあるといえる。				
己	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など	R4からミモザ企業認定数を指標とすることで、県内の女性活躍の推進状況を効率的に把握し、効果的な業務執行を実現している。また、個別相談支援についても、オンラインでの相談を可能とするなど工夫を行っている。						
評価	課題・今後の方向性							
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 ・女性の就業率や県内転出が課題であることを踏まえ、女性が働きやすい環境整備を進めるため、関係団体との連携・協働の取組を進め、特に中小企業における取組の推進を引き続き促すことが必要なことから、市町・経済関係団体等と連携し、女性活躍推進のための効果的な事業展開を実施していく。 ・セミナー参加や個別相談を実施している企業であっても、トップの意識改革が十分でないために企業内での取組に繋がらず、結果として女性活躍推進が図られていない企業が多いことから、従来から実施する個別相談等における説明内容・方法の工夫により、トップへの動機付けに繋がる改善を検討していく。							
評価								

事務事業評価調書

事業名	人権擁護推進等事業費補助				部(局)	県民生活部				
					所管課	総務課人権推進室				
					担当班	人権推進班				
					連絡先	078-362-9135				
開始年度	令和5年度	終了年度	令和9年度	関連計画等	兵庫県人権教育及び啓発に関する総合推進指針					
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業									
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	県内市町				
事業目的	近年、社会情勢の変化により、部落差別をはじめ外国人へのヘイトスピーチや性的マイノリティへの偏見等、人権問題は多様化・複雑化している。これらの問題に柔軟かつ効果的に対応し人権を擁護するため、市町が実施する地域に密着した啓発事業や先駆的な事業を引き続き支援し、本県が取り組む「人権文化をすすめる県民運動」の一層の展開を図る。									
事業概要	市町が実施する人権施策のうち、「啓発支援事業」として講演会等の開催経費、啓発冊子等の作成・購入・配布経費について補助を行うとともに、「擁護推進事業」中に「重点施策普及促進事業」を補助枠として設定し、部落差別、外国人、障害者、性的マイノリティに関する人権啓発活動に係る経費について補助を行う。(補助率1/3)									
これまでの改善状況	S54～「同和問題啓発事業費補助」同和対策特別措置法の延長を契機に、従来の物的事業から啓発事業を展開するため市町に対する補助制度として創設(補助率1/2、上限1,000千円) H9～「人権啓発事業費補助」人権同和対策のみでなく、あらゆる差別の解消を図ることを目的に補助対象を拡充(補助率1/2、上限1,500千円) H20～人権啓発事業の定着等に伴い、補助率を1/3に変更(上限833千円(H23～766千円)) H25～先駆的・モデル的事業の普及を促進するため、「一般事業」と「特別事業」の補助枠を設定(上限730千円) R5～人権侵害の抑止や人権救済へ繋ぐ取組の強化のため、事業を組み替え、「人権擁護推進等事業費補助」として、新たに人権擁護に係る事業を支援する「擁護推進事業」の補助枠を設定									
業務フロー	交付申請(市町)→受付・審査・交付決定(県)→事業実施(市町)→実績報告(市町)→実績確認・確定(県)									
事業に要するコスト	区 分		3年度決算額		4年度決算額		5年度当初予算額		6年度当初予算額	
	事業費①		0千円		0千円		19,380千円		18,925千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円	
		補助金・交付金	0千円		0千円		19,380千円		18,925千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他	0千円		0千円		0千円		0千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(特定)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(0千円)		(0千円)		(19,380千円)		(18,925千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		0千円		0千円		19,380千円		18,925千円	
	執行率((①/②)×100)		--		--		100.0%		100.0%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員	0.0人	従事人員	0.0人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人
			0千円		0千円		2,586千円		2,616千円	
職員給与費	a	0千円		0千円		2,249千円		2,280千円		
賞与引当金繰入額	b	0千円		0千円		172千円		175千円		
退職手当引当金繰入額	c	0千円		0千円		165千円		161千円		
総コスト(①+③)		0千円		0千円		21,966千円		21,541千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度目標	最終目標【年度】	
	価値	成果指標（アウトカム指標①） 年齢、性別、障害の有無などに関わりなく、暮らしやすい環境が整っていると思う人の割合（兵庫のゆたかさ指標）	目標	—	—	40%	40%	40%
実績（見込）			—	—	(36.1%)	(37.5%)	【令和9年度】	
(単位当たりコスト)			—	—	(608千円)	(574千円)	/	
達成率（見込）			—	—	(90.3%)	(93.8%)		
成果指標（アウトカム指標②）		目標	—	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—	—	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	/	
		達成率（見込）	—	—	—	—		
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—	—	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	/	
		達成率（見込）	—	—	—	—		
指標	活動指標（アウトプット指標①） 当該補助申請市町数	目標	—	—	41市町	41市町	41市町	
		実績（見込）	—	—	(41市町)	(41市町)	【令和9年度】	
		(単位当たりコスト)	—	—	(536千円)	(525千円)	/	
		達成率（見込）	—	—	(100.0%)	(100.0%)		
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—	—	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	/	
		達成率（見込）	—	—	—	—		
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—	—	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	/	
		達成率（見込）	—	—	—	—		
目標	終期設定	○有（令和9年度）					無	
	改善基準	成果指標の目標年次の達成率100%						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）				
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部落差別や性的マイノリティへの偏見等、多様化する人権課題への対応は、県民ニーズが高いと考えられ、県と市町が連携して人権施策を推進する上で本事業は有効性が高い。 ・ R5年6月にLGBT理解増進法が施行され、地方公共団体の責務として、理解の増進に関する施策を策定・実施に努めることとされており、より一層の人権施策が求められている。 ・ 中立・公平な事業展開が求められるとともに、収益性が見込めない事業であり、基本的に民間の参入は望めない。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内全市町が当該制度を活用し、様々な人権課題に対応するための事業を実施している。 				
評価	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など	<ul style="list-style-type: none"> ・ 申請書の審査を行い、費用対効果の低いと考えられる事業は対象外としている。 ・ 事務処理の大部分について、福祉部総務課補助金・統計班において、ICTを最大限に活用した効率的な事務処理を実施している。 						
	課題・今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他	説明 県と市町が連携した効果的な人権推進事業を実施するうえで、当補助金はその充実に大きな役割を果たしており、継続が必要である。今後は、インターネット上の誹謗中傷や、性的マイノリティの人権問題など多様化する人権課題に対応した事業を市町が取組めるよう促していく。						
価値								

事務事業評価調書

事業名	人権擁護サポート事業				部(局)	県民生活部	
					所管課	総務課人権推進室	
					担当班	人権推進班	
					連絡先	078-362-3229	
開始年度	令和4年度	終了年度	令和5年度	関連計画等	兵庫県人権教育及び啓発に関する総合推進指針		
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	(公財)兵庫県人権啓発協会	
事業目的	人権侵害については、現在、(公財)兵庫県人権啓発協会が相談に対応し、必要に応じて神戸地方法務局や兵庫労働局、法テラスなど関係機関の相談窓口を案内している。 近年、インターネット上の誹謗中傷やLGBT等への偏見・差別など人権問題の多様化に伴い、法的手続に関する専門的な相談や被害者の気持ちに寄り添える相談員など新しい相談手法が求められるとともに、相談を実際の救済に繋げることが求められているため、以下の取組みにより、人権擁護・救済の充実強化を図る。						
事業概要	①ネット上の誹謗中傷等に関する弁護士による専門相談を実施するほか、書き込みの削除や発信者情報の開示等の法的手続きを支援するネット被害者サポートチームを設置する。 ②LGBT等性的少数者の悩みに寄り添えるよう、支援団体による専門相談を実施するほか、当事者が自由に集まり交流することにより、問題解決に繋げることを支援するための交流会を開催する。						
これまでの改善状況	①令和4年度に開始したネット上の誹謗中傷等に関する弁護士による専門相談については、令和5年度よりサポートチームの設置等により、相談者の法的手続きに関する相談に適切に対応できている。 ②令和5年度開始のLGBT等性的少数者の悩みについても、当事者団体の相談員により適切に寄り添った相談事業が実施できている。						
業務フロー	県民生活部総務課 → (公財) 県人権啓発協会 → 県弁護士会 ⇄ 県民(ネット被害者) 人権推進班 (委託) → LGBT当事者団体 ⇄ 県民(LGBT当事者等) (一部再委託) (相談)						
事業に要するコスト	区 分		3年度決算額	4年度決算額	5年度当初予算額	6年度当初予算額	
	事業費①		0千円	2,007千円	5,586千円	0千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	0千円	2,007千円	5,586千円	0千円	
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(特定)	0千円	0千円	0千円	0千円	
		(起債)	0千円	0千円	0千円	0千円	
		(一般財源)	0千円	(2,007千円)	(5,586千円)	(0千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		0千円	2,007千円	5,586千円	0千円	
	執行率((①/②)×100)		--	100.0%	100.0%	--	
	人件費③(a+b+c)		従事人員 0.0人	従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	従事人員 0.0人	
		0千円	8,257千円	8,619千円	0千円		
	職員給与費 a	0千円	7,136千円	7,496千円	0千円		
	賞与引当金繰入額 b	0千円	583千円	572千円	0千円		
	退職手当引当金繰入額 c	0千円	538千円	551千円	0千円		
総コスト(①+③)		0千円	10,264千円	14,205千円	0千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①）	目標	—	173	164	—
県人権啓発協会におけるインターネットに関する人権侵害相談件数（毎年▲5%）		実績（見込）	—	(173)	(187)	—	【R5年度】
		（単位当たりコスト）	—	(59 千円)	(76 千円)	—	
		達成率（見込）	—	100.0%	(114.0%)	—	
		成果指標（アウトカム指標②）	目標	—	70%	70%	—
専門相談解決率		実績（見込）	—	86%	79%	—	【R5年度】
		（単位当たりコスト）	—	(11,935 千円)	(17,981 千円)	—	
		達成率（見込）	—	122.9%	(112.9%)	—	
		成果指標（アウトカム指標③）	目標	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
	活動指標（アウトプット指標①）	目標	—	100	100	—	100
ネット専門相談件数	実績（見込）	—	28	(65)	—	【R5年度】	
	（単位当たりコスト）	—	(367 千円)	(219 千円)	—		
	達成率（見込）	—	28.0%	(65.0%)	—		
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	50	100	—	100
LGBT専門相談件数	実績（見込）	—	29	(60)	—	【R5年度】	
	（単位当たりコスト）	—	(354 千円)	(237 千円)	—		
	達成率（見込）	—	58.0%	(60.0%)	—		
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—
	実績（見込）	—	—	—	—		
	（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
	達成率（見込）	—	—	—	—		
	終期設定	○ 令和5年度) ・ 無					
改善基準	成果指標の目標年次の達成率85%						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	・ インターネットによる人権侵害、性的少数者の人権擁護は社会的課題である。 ・ 弁護士事務所等民間事業者による相談・救済事業はあるものの、費用が高額でハードルが高い。		・ SNS上の誹謗中傷の深刻化等により相談件数は増加傾向にあり、R5では成果目標を下回っている。（目標164、成果187）			
課題・今後の方向性	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など	・ 兵庫県弁護士会やLGBT当事者団体の協力により、最小限での費用で実施している。					
	<input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> その他 説明 { ・ SNS上の誹謗中傷の深刻化等により、現在目標を下回っていること等から、新規事業への組み替えを行う。						

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①）	目 標	-	-	164	178
県人権啓発協会におけるインターネットに関する人権侵害相談件数（毎年▲5%）		実績（見込）	(170)	(173)	(187)	(178)	
		(単位当たりコスト)	(66 千円)	(63 千円)	(60 千円)	(93 千円)	
		達成率（見込）	--	--	(114.0%)	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標②）		目 標	-	70%	70%	70%	70% 【8年度】
専門（インターネット）相談解決率		実績（見込）	-	86%	79%	70%	
		(単位当たりコスト)	--	(12,735 千円)	(14,275 千円)	(23,623 千円)	
		達成率（見込）	--	122.9%	(112.9%)	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標③）		目 標	-	-	-	-	
		実績（見込）	-	-	-	-	
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
指標	活動指標（アウトプット指標①）	目 標	-	-	-	900	900 【8年度】
	インターネットモニタリング件数	実績（見込）	(707)	(613)	(975)	(900)	
		(単位当たりコスト)	(16 千円)	(18 千円)	(12 千円)	(18 千円)	
		達成率（見込）	--	--	--	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目 標	-	-	-	-	
		実績（見込）	-	-	-	-	
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	活動指標（アウトプット指標③）	目 標	-	-	-	-	
		実績（見込）	-	-	-	-	
		(単位当たりコスト)	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
目標	終期設定	(有) (R8年度)					無
	改善基準	成果指標の目標年次の達成率85%					
自己	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	・ SNS上の誹謗中傷等、インターネットによる人権侵害の抑止は社会的課題である。 ・ 弁護士事務所等民間事業者による相談・救済事業はあるものの、費用が高額、手続きが煩雑などハードルが高い。 ・ 弁護士相談の件数、サポートチームによる削除要請件数ともに増加傾向にある。		・ モニタリングの実施により、年間600~1000件近い悪質な書き込みの早期発見と削除につながっている。 ・ 専門相談についても、目標を上回る高い割合でネットトラブルの解決が図られている。			
評価	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など	・ 兵庫県弁護士会やモニタリング委託企業の協力により、最小限での費用で実施している。					
	課題・今後の方向性 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> その他 説明 SNS上の誹謗中傷事業の抑止は、①啓発の推進 ②モニタリングや相談の充実 ③実効性のある削除方策の検討 などの取組みを総合的に実施する必要があることから、検討委員会において議論を深め、より効率的で実効性のある施策の検討を進め、インターネットによる人権侵害の抑止・救済の拡大につなげていく。						

事務事業評価調査

事業名	ふるさと兵庫“すごいすと”情報発信事業				部(局)	県民生活部	
					所管課	県民躍動課	
					担当班	参画協働班	
					連絡先	078-362-3996	
開始年度	平成25年度	終了年度	-	関連計画等	-		
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	県	
事業目的	兵庫を元気にしているすごい人物“すごいすと”や、参画と協働のまちづくりを進める地域コミュニティ等、様々な角度から地域を元気にし、ふるさとへの誇りや愛着につながる情報を発信することで、地域活性化及び県民のふるさと意識の醸成を図る。						
事業概要	(1) インターネット情報誌「ふるさと兵庫“すごいすと”」の制作 地域を元気にしている人や、地域コミュニティ団体等に取材を行い、活動のきっかけや思い・今後の展望等を記事にして、すごいすとHPにて公開 (2) ふれあい活動アドバイザー派遣事業 “すごいすと”で取り上げられた方々を「ふれあい活動アドバイザー」として県内の地域づくり活動団体へ紹介・派遣し、県がその経費の一部を補助						
これまでの改善状況	H25:事業開始 H27:「未来のすごいすと(地域づくりに取り組む若者で構成されるグループ)」の制作を開始 R1:「Co+Coすごい(地域づくりに取り組む地域コミュニティグループ)」の制作を開始 R3:未来のすごいすとをCo+Coすごいに統合 R4:これまで蓄積してきたすごいすとの活用を図るため、すごいすとをアドバイザーとして地域づくり団体に派遣し、地域課題の解決に直接アプローチできる仕組みを整備						
業務フロー	(1) 委託：1年ごとに企画提案コンペを実施し、最も優れた提案をした者に委託 (2) 補助：申請(地域づくり活動団体)→受付・審査(県)→交付決定(県)						
事業に要するコスト	区 分		3年度決算額	4年度決算額	5年度当初予算額	6年度当初予算額	
	事業費①		7,350千円	12,371千円	10,971千円	11,056千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	6,998千円	9,195千円	9,200千円	9,200千円	
		補助金・交付金	0千円	600千円	1,350千円	1,350千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	352千円	2,576千円	421千円	506千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(3,675千円)	(6,185千円)	(5,485千円)	(5,522千円)	
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(3,675千円)	(6,185千円)	(5,486千円)	(5,523千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		7,350千円	12,371千円	10,971千円	11,056千円	
	執行率((①/②)×100)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	従事人員 1.0人	
			8,225千円	8,257千円	8,619千円	8,720千円	
	職員給与費 a	7,102千円	7,136千円	7,496千円	7,599千円		
	賞与引当金繰入額 b	572千円	583千円	572千円	583千円		
	退職手当引当金繰入額 c	551千円	538千円	551千円	538千円		
総コスト(①+③)		15,575千円	20,628千円	19,590千円	19,776千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 兵庫のゆたかさ指標（設問3：住む地域への関心）	目標	71.1	71.2	69.1	69.2
実績（見込）			71.2	69.1	(69.2)	(69.2)	【各年度】
(単位当たりコスト)			(219千円)	(299千円)	(283千円)	(286千円)	
達成率（見込）			100.1%	97.1%	(100.1%)	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標②） 兵庫のゆたかさ指標（設問7：住む地域への愛着や誇り）		目標	66.8	66.8	64.7	63.8	前年度を上回る
		実績（見込）	66.8	64.7	(63.8)	(63.8)	【各年度】
		(単位当たりコスト)	(233千円)	(319千円)	(307千円)	(310千円)	
		達成率（見込）	100.0%	96.9%	(98.6%)	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
指標	活動指標（アウトプット指標①） すごいすとアクセスユーザー数（月平均）	目標	5,400	5,400	5,400	5,400	5,400
		実績（見込）	7,941	6,951	(6,575)	(5,400)	【各年度】
		(単位当たりコスト)	(2千円)	(3千円)	(3千円)	(4千円)	
		達成率（見込）	147.1%	128.7%	(121.8%)	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②） ふれあい活動アドバイザー派遣回数	目標	—	25	25	25	25
		実績（見込）	—	14	(17)	(25)	【各年度】
		(単位当たりコスト)	—	(1,473千円)	(1,152千円)	(791千円)	
		達成率（見込）	—	56.0%	(68.0%)	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
目標	終期設定	有（ ）					無
	改善基準						
自己評価	評価の視点		評価		目標に対する達成状況（総合的評価）		
	○有効性（評価指標に対する実績） ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など		R3年度には「ひょうごe-県民アプリ」と連携するなど、多くの人にすごいとの記事が届くような仕組みを整備し、本HPを定期的に関覧する人が一定数いる一方で、アクセスユーザー数の大幅な増加にはつながっていない。アドバイザー派遣についても、制度の周知が不十分であり、想定された補助件数には達していない。		アクセスユーザー数の増加、ひいては住民の地域への意識醸成に向けては、本事業の魅力をもさらに高める必要があり、県広報プロデューサーの伴走支援を受けることで、より魅力的なコンテンツとなるよう工夫・改善を行っている。		
	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか など		毎年コンペを実施し、優れた提案をもつ事業者を選定し、効果的な事業執行を実施している。イベントの広報時には登壇者にもSNS等での広報を依頼することで、県政になじみのない層への周知を図っている。				
課題・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他						
	説明	本事業の効果をより高めるためには、さらに多くの人にアクセスしてもらう必要がある。アクセスユーザー数の増加に向けては、本事業の魅力をより高める必要があり、引き続き広報専門人材や民間事業者の提案を取り入れながら、HP構成の精査や新たな企画を検討・実施する。 アドバイザー派遣については、より多くの団体の課題解決につながるよう、地域活動を支援する主体と連携し、本補助事業の効果的な周知・広報に取り組む。					
評価							

事務事業評価調書

事業名	競技スポーツ振興事業				部(局)	県民生活部	
					所管課	スポーツ振興課	
					担当班	競技・生涯スポーツ班	
					連絡先	078-362-9446	
開始年度	平成19年度	終了年度	—	関連計画等	第2期スポーツ推進計画		
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	兵庫県スポーツ協会	
事業目的	<p>県内スポーツ団体の有する人的財産(トップアスリートやトップコーチ等)を活用して国体選手等の競技力強化を図るほか、子どもの運動・スポーツが好きになる機会の創出を推進し、競技者のすそ野拡大を図ることによって中・長期的な競技力向上に取り組み、次世代を担うジュニアアスリートを育成し、トップアスリート層の拡大を図る。</p> <p>また、競技団体の提案型による選手の発掘から育成・強化に対して補助することで、次回開催のオリンピックで活躍できる兵庫ゆかりのトップアスリートの輩出をめざす。</p>						
事業概要	公益財団法人兵庫県スポーツ協会が行った記事業に対して補助 ・選手発掘・育成事業(ジュニア選手の発掘・育成事業、強化事業、トップアスリート等の活用促進事業) ・推進体制の整備事業(選手クラブ・クラブチーム事業、強化体制充実クラブチーム事業、アスリートクラブチーム事業) ・指導者養成事業(指導者養成クラブチーム事業) ・スーパーアスリート事業(能力向上クラブチーム事業、医・科学クラブチーム事業、能力発掘・育成クラブチーム事業)						
これまでの改善状況	令和5年度～ 既存事業の整理・見直しを行った上で、下記のとおり改善を図った。 ・広報にかかる経費をおさえるため、競技団体や各市町等への印刷物は、可能な限りオンライン(電子メールへ添付)などで対応し、大幅な削減を行った。 ・選手・指導者の県内への定着を図るため、アスリートキャリアフォーラム事業を実施し、本県企業関係者と選手・指導者との相互理解を深めた。						
業務フロー	申請(4月)(兵庫県スポーツ協会)→受付・審査(4月)(県)→交付(4月)(県)→支出決定(4月)(県)→事業実施(R5.4~R6.3)(兵庫県スポーツ協会)→実績報告(3月)(兵庫県スポーツ協会)						
事業に要するコスト	区 分		3年度決算額	4年度決算額	5年度当初予算額	6年度当初予算額	
	事業費①		168,103千円	203,185千円	198,317千円	194,933千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円	
		補助金・交付金	168,103千円	203,185千円	198,317千円	194,933千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(168,103千円)	(203,185千円)	(198,317千円)	(194,933千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		225,761千円	203,185千円	198,317千円	194,933千円	
	執行率((①/②)×100)		74.5%	100.0%	100.0%	100.0%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員 0.4人	従事人員 0.4人	従事人員 0.4人	従事人員 0.4人	
		3,290千円	3,303千円	3,448千円	3,488千円		
職員給与費	a	2,841千円	2,854千円	2,998千円	3,040千円		
賞与引当金繰入額	b	229千円	233千円	229千円	233千円		
退職手当引当金繰入額	c	220千円	215千円	220千円	215千円		
総コスト(①+③)		171,393千円	206,488千円	201,765千円	198,421千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度目標	最終目標【年度】
評価	成果指標（アウトカム指標①） 国民スポーツ大会で入賞する競技団体数の増加	目標	—	20	22	24	28団体
		実績（見込）	大会中止	21	21	(24)	【令和13年度】
		(単位当たりコスト)	—	(9,833千円)	(9,608千円)	(8,268千円)	
		達成率（見込）	—	105.0%	(95.5%)	(100.0%)	
	成果指標（アウトカム指標②）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
	成果指標（アウトカム指標③）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
指標	活動指標（アウトプット指標①） ジュニアスポーツ教室参加者数の増加	目標	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000人
		実績（見込）	4,424	5,966	(7,000)	(7,000)	【令和13年度】
		(単位当たりコスト)	(39千円)	(35千円)	(29千円)	(28千円)	
		達成率（見込）	63.2%	85.2%	(100.0%)	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—
		実績（見込）	—	—	—	—	—
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
標	終期設定	有（ ） ・ （無）					
改善基準	国民スポーツ大会で入賞する競技団体数が3年連続で下回った場合に見直しを検討						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	<p>○有効性（評価指標に対する実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> 県民ニーズを的確に踏まえた事業か 民間での事業実施は見込めない事業か 指標・目標設定は適切か 活動実績は十分か 想定された成果を達成しているかなど 	<p>ジュニア世代～トップアスリートへの育成により競技水準の向上が図られていることやスポーツ人口の裾野拡大に寄与していることから本事業は有効である。</p>		<p>国民スポーツ大会で入賞する競技団体数は、ジュニア期からの一貫した指導による選手発掘・育成を続けてきたが、令和5年度の目標値を下回る見込みである。ジュニアスポーツ教室の参加者数は、目標達成には至らなかったが、参加者数は前年度より大幅に増加した。しかし、有望選手の県外流出は課題となっており、今後も国民スポーツ大会で入賞する競技数を増加させるために、更なる取組が必要。</p>			
課題・今後の方向性	<p>○効率性（最小のコストで最大の効果）</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務改革に取り組んでいるか コスト削減の工夫を行っているか ICTや民間活力は活用しているか 受益者負担は適正か 財源確保の工夫は行っているかなど 	<p>一部事業については、オンライン等を活用して対応することによりコスト削減を行うなど、効率的に実施している。</p>					
	<p>改善 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/></p> <p>説明</p> <p>アスリート・指導者に対して、競技生活をサポート及びセカンドキャリアの保障をする県内の中小企業が少ないことから、県外にアスリート等が流出している。今後は有望選手の県外流出の阻止と選手確保のためにアスリートキャリアフォーラム事業を通じて、アスリート等の受け入れ企業を増やし、国民スポーツ大会に出場し優秀な成績を収める環境づくりを行う。</p>						

事務事業評価調書

事業名	神戸マラソンの開催				部(局)	県民生活部	
					所管課	スポーツ振興課	
					担当班	マラソン班	
					連絡先	078-325-1430	
開始年度	平成23年度	終了年度	—	関連計画等	第2期スポーツ推進計画		
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> その他(負担金)				実施主体等	神戸マラソン実行委員会	
事業目的	兵庫県と神戸市が「元気な兵庫の実現(兵庫県)」「健康を楽しむまちづくり(神戸市)」の実現に向け、ランニングを核としたスポーツのさらなる振興を図り、震災復興の教訓・感謝と兵庫・神戸の魅力を国内外に発信するため、フルマラソン大会を開催する。						
事業概要	日時：11月の第3日曜日に開催 種目：マラソン 定員：2万人 制限時間：7時間 コース：神戸市役所前(スタート)～明石海峡大橋の西方(折り返し)～ポートアイランド市民広場付近(ゴール)						
これまでの改善状況	平成27年度～ これからの神戸マラソンの在り方検討委員会の設置 6～10回大会で下記の事業内容の見直しを実施 ・競技性を高めるために、ラベル獲得とエリートランナーの招聘 ・海外参加者獲得のために、総領事館のSNS等のネットワークの活用 ・大会の理解促進及びコース沿道応援について事前に個別訪問して住民へ説明						
業務フロー	申請(4月)(神戸マラソン実行委員会)→協定締結(4月)(県)→事業実施(R5.4～R6.3)(神戸マラソン実行委員会)→実績報告書(3月)(神戸マラソン実行委員会)						
事業に要するコスト	区 分		3年度決算額	4年度決算額	5年度当初予算額	6年度当初予算額	
	事業費①		43,755千円	68,883千円	68,883千円	68,883千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円	
		補助金・交付金	43,755千円	68,883千円	68,883千円	68,883千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(特定)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(43,755千円)	(68,883千円)	(68,883千円)	(68,883千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		68,883千円	68,883千円	68,883千円	68,883千円	
	執行率((①/②)×100)		63.5%	100.0%	100.0%	100.0%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員 8.0人	従事人員 8.0人	従事人員 8.0人	従事人員 8.0人	
			65,800千円	66,056千円	68,952千円	69,760千円	
職員給与費	a	56,816千円	57,088千円	59,968千円	60,792千円		
賞与引当金繰入額	b	4,576千円	4,664千円	4,576千円	4,664千円		
退職手当引当金繰入額	c	4,408千円	4,304千円	4,408千円	4,304千円		
総コスト(①+③)		109,555千円	134,939千円	137,835千円	138,643千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 大会全体のランナー満足度 ※アンケートにより「大会に満足した」と回答したランナーの割合	目標	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
実績（見込）			延期	88.9%	(100.0%)	(100.0%)	【令和13年度】
（単位当たりコスト）			--	(151,787千円)	(137,835千円)	(138,643千円)	/
達成率（見込）			--	88.9%	(100.0%)	(100.0%)	
成果指標（アウトカム指標②）		目標	--	--	--	--	--
		実績（見込）	--	--	--	--	--
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	/
		達成率（見込）	--	--	--	--	
成果指標（アウトカム指標③）		目標	--	--	--	--	--
		実績（見込）	--	--	--	--	--
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	/
		達成率（見込）	--	--	--	--	
指標	活動指標（アウトプット指標①） ボランティア参加者数	目標	7,200	7,200	6,000	6,000	6,000
		実績（見込）	延期	5,768	(6,000)	(6,000)	【令和13年度】
		（単位当たりコスト）	--	(23千円)	(23千円)	(23千円)	/
		達成率（見込）	--	80.1%	(100.0%)	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	--	--	--	--	--
		実績（見込）	--	--	--	--	--
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	/
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	--	--	--	--	--
		実績（見込）	--	--	--	--	--
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	/
		達成率（見込）	--	--	--	--	
目標	終期設定	有（ ） ・ 無（○）					
	改善基準	大会全体のランナー満足度が3年連続で下回った場合に見直しを検討					
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	ランナーと沿道応援を含めた約60万人（R4はコロナ対策のため沿道応援未実施、R5は4年振りに一般の沿道応援を再開）を兵庫に呼び込むことで、震災復興の教訓・感謝と兵庫の魅力を発信する上で本事業は有効である。		ランナーアンケートにより、給水・給食、トイレの適正な配置など、ランナーの意見を反映させることで、より魅力ある大会を実施した。			
自己評価	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫を行っているか など	参加しやすい大会を目指し、他大会の参加料水準を見ながら、人件費や資機材の高騰分を警備計画や各種イベントの実施を見直し、経費削減に取り組んだ。		ボランティア参加者数については、目標数及び配置計画等を見直し、効率的に大会を運営する予定である。各ボランティアの拘束時間等負担を軽減するため、目標数の充足を目指し、ランナー募集と合わせて引き続き広報等を強化する。			
	課題・今後の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他	説明 今後の神戸マラソンの在り方については、これまで県と神戸市が協働で実施してきた経緯や、神戸マラソン将来構想検討委員会からの提言等を踏まえ、神戸マラソンの在り方について、適宜見直しを進める。					
評価							

事務事業評価調書

事業名	「関西マスターズゲームズ in HYOGO」開催事業				部(局)	県民生活部	
					所管課	スポーツ振興課	
					担当班	広域スポーツ班	
					連絡先	078 (362) 3788	
開始年度	平成26年度	終了年度	—	関連計画等	第2期スポーツ推進計画		
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	ひょうご生涯スポーツ大会実行委員会	
事業目的	「ワールドマスターズゲームズ関西大会」の開催に向けて醸成してきたスポーツ機運を継続し、さらにすそ野を広げるため「ひょうご生涯スポーツ大会」を「関西マスターズゲームズ」の冠称大会とし、広く県民にスポーツの楽しさや喜びを体験したり、実践する場を提供したりすることにより、生涯を通じてスポーツに親しみ、健康で豊かな生活の実現に資する。						
事業概要	ひょうご生涯スポーツ大会実行委員会に対し、以下に要する経費を委託。 ①広報イベント：各競技別大会に参加する仲間と集い、ワールドマスターズゲームズに向けて県民へ広く広報活動を行い、生涯スポーツの振興に繋げる。 ②競技別大会（ひょうご生涯スポーツ大会）：WMG2027関西大会の開催に向けてスポーツ機運の醸成を図り、さらにすそ野を広げるため、「ひょうご生涯スポーツ大会」を「関西マスターズゲームズ」の冠称大会とし、広く県民にスポーツの楽しさや喜びを体験したり、実践する場を提供する。 ③県民ふれあい大会：兵庫県生涯スポーツ連合と連携し、こころ豊かな生活をめざし、生涯を通じて楽しみ、喜びを味わえる生涯スポーツ活動の体験と交流を図り、だれでも、いつでも、どこでも、気軽に参加できる生涯スポーツ活動を推進する。						
これまでの改善状況	—						
業務フロー	申請（4月）（ひょうご生涯スポーツ大会実行委員会）→委託契約締結（4月）（県）→事業実施（R5.4～R6.3）（ひょうご生涯スポーツ大会実行委員会）→実績報告（3月）（ひょうご生涯スポーツ大会実行委員会）						
事業に要するコスト	区 分		3年度決算額	4年度決算額	5年度当初予算額	6年度当初予算額	
	事業費①		6,344千円	6,265千円	6,072千円	5,579千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		委託料	4,436千円	5,430千円	5,430千円	5,579千円	
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円	
		その他	1,908千円	835千円	642千円	0千円	
	（財源内訳）	（国庫）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（特定）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（起債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		（一般財源）	(7,832千円)	(6,265千円)	(6,072千円)	(5,579千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		7,832千円	6,265千円	6,072千円	5,579千円	
	執行率（(①/②）×100）		81.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	人件費③（a+b+c）		従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	従事人員 0.3人	
			2,468千円	2,477千円	2,586千円	2,616千円	
職員給与費 a	2,131千円	2,141千円	2,249千円	2,280千円			
賞与引当金繰入額 b	172千円	175千円	172千円	175千円			
退職手当引当金繰入額 c	165千円	161千円	165千円	161千円			
総コスト（①+③）		6,265千円	6,072千円	6,072千円	8,195千円		

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度目標	最終目標【年度】	
	評価	成果指標（アウトカム指標①） 成人のスポーツ実施率	目標	75	64	66	70.0	73
実績（見込）			63	64	(66)	(70.0)	【令和13年度】	
(単位当たりコスト)			(96千円)	(95千円)	(92千円)	(117千円)		
達成率（見込）			84.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)		
成果指標（アウトカム指標②）		目標	—	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—	—	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
成果指標（アウトカム指標③）		目標	—	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—	—	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
指標	活動指標（アウトプット指標①） 「関西マスターズゲームズ in HYOGO」の大会数	目標	70	64	64	64	64	
		実績（見込）	40	64	(60)	(64)	【令和13年度】	
		(単位当たりコスト)	(152千円)	(95千円)	(101千円)	(128千円)		
		達成率（見込）	57.1%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)		
	活動指標（アウトプット指標②）	目標	—	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—	—	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
	活動指標（アウトプット指標③）	目標	—	—	—	—	—	
		実績（見込）	—	—	—	—	—	
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率（見込）	—	—	—	—		
目標	終期設定	有（ ）					無	
	改善基準	成人のスポーツ実施率が3年連続で下回った場合に見直しを検討。						
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）				
	○有効性（評価指標に対する実績） ・ 県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・ 民間での事業実施は見込めない事業か ・ 指標・目標設定は適切か ・ 活動実績は十分か ・ 想定された成果を達成しているか など	大会を開催することで県民に対し、スポーツの楽しさや喜びを体験したり、実践する場を提供することができ、大会への機運醸成を図るのに有効である。		新型コロナウイルスに伴う行動制限が緩和されたことに加え、ホームページやチラシ配布等による本県開催競技の情報発信をしたことにより、関西マスターズゲームズ in HYOGOの大会実施数は増えた。しかし、参加者数は依然としてコロナ禍以前の水準までには回復しておらず、引き続きワールドマスターズゲームズに向けた啓発活動を行うとともに、生涯スポーツの振興、情報発信を続けていく。				
課題・今後の方向性	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・ 業務改革に取り組んでいるか ・ コスト削減の工夫を行っているか ・ ICTや民間活力は活用しているか ・ 受益者負担は適正か ・ 財源確保の工夫は行っているか など	WMG2021関西組織委員会が行う広報と連携して、本事業の広報を行うことで、更なる県民のスポーツ参加機会の増大を図るなど事業の効率化を図る。						
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 「関西マスターズゲームズ in HYOGO」の大会数の増加と成人のスポーツ実施率の達成状況の相関性を踏まえ、各競技団体が運営する「関西マスターズゲームズ in HYOGO」の大会内容の実態把握を行い、取組内容の改善を促すことで成人のスポーツ実施率の増加を図る。							

事務事業評価調書

事業名	スポーツ大会招致事業（「はばたンスポーツ基金」活用事業）				部(局)	県民生活部		
					所管課	スポーツ振興課		
					担当班	競技・生涯スポーツ班		
					連絡先	078-362-9446		
開始年度	平成19年度～	終了年度	—	関連計画等	第2期スポーツ推進計画			
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	競技団体		
事業目的	国際大会、全国規模の大会を誘致し県民に質の高い競技を観戦する機会を提供することで、本県のスポーツに関する競技水準の向上、県民のスポーツへの関心を深める。							
事業概要	競技大会実施団体（公益財団法人兵庫県スポーツ協会加盟競技団体及び上部団体が公益財団法人日本スポーツ協会又は公益財団法人日本オリンピック委員会に加盟している県内のスポーツ団体）が全国規模の競技大会開催に要する経費を補助							
これまでの改善状況	平成19年度～平成25年度～ 1大会上限50万円として基金運用益の範囲内で助成 運用方法変更に伴い、安定的な運用利息が見込めることから、助成要件を拡充 令和4年度～ 1大会上限100万円として600万円の範囲内で助成 ・大会の主催・主管団体を、県スポーツ協会加盟競技団体だけでなく、上部団体及び（公財）日本スポーツ協会及び（公財）日本オリンピック委員会加盟団体まで拡充 ・集客を目的とした内容や広報にも補助金を使用できるよう、対象経費に柔軟性を持たせ、競技大会開催に要する経費（食糧費、備品購入費等は除外）と変更 ・国際大会や全国規模の大会の県内開催の定着を目指すこと、またスポーツへの興味・関心を高める観点から、過去に補助を受けた大会であっても3年以上連続で開催される大会については、3年間の連続補助を行う。							
業務フロー	事業周知【前年4月、対象：県スポーツ協会加盟競技団体】 → 仮申請【前年（1回目）4月～9月、（2回目）10月～2月】 → 仮受付・仮審査 → 正式申請 → 受付・審査 → 決定通知 → 大会実施							
事業に要するコスト	区 分		3年度決算額	4年度決算額	5年度当初予算額	6年度当初予算額		
	事業費①		1,774千円	4,836千円	6,000千円	6,000千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	1,774千円	4,836千円	6,000千円	6,000千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他	0千円	0千円	0千円	0千円		
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(特定)	(1,774千円)	(4,836千円)	(5,000千円)	(6,000千円)		
		(起債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		6,000千円	6,000千円	6,000千円	6,000千円		
	執行率（(①/②)×100）		29.6%	80.6%	83.3%	100.0%		
	人件費③（a+b+c）		従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人
			2,468千円		2,477千円		2,586千円	
職員給与費 a		2,131千円	2,141千円	2,249千円	2,280千円			
賞与引当金繰入額 b		172千円	175千円	172千円	175千円			
退職手当引当金繰入額 c		165千円	161千円	165千円	161千円			
総コスト（①+③）		4,242千円	7,313千円	8,586千円	8,616千円			

事務事業評価調書

評価	指標名	区分	3年度実績	4年度実績	5年度見込	6年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標（アウトカム指標①）	目 標	—	64.4%	65.8%	67.2%
成人のスポーツ実施率（R3まで目標値なし）		実績（見込）	63.0%	67.8%	調査中	—	【令和13年度】
		（単位当たりコスト）	(6,733千円)	(10,786千円)	—	—	
		達成率（見込）	—	105.3%	—	—	
		成果指標（アウトカム指標②）	目 標	—	86.0%	86.7%	87.5%
運動・スポーツが好きな子どもの増加（R3まで目標値なし）		実績（見込）	85.2%	86.3%	調査中	—	【令和13年度】
		（単位当たりコスト）	(4,978千円)	(8,474千円)	—	—	
		達成率（見込）	—	100.3%	—	—	
		成果指標（アウトカム指標③）	目 標	600人	462人	467人	472人
国民体育大会をはじめ国内外の大会で顕著な成績をおさめる兵庫ゆかりの選手の増加		実績（見込）	457人	489人	調査中	—	【令和13年度】
		（単位当たりコスト）	—	—	—	—	
		達成率（見込）	—	—	—	—	
	活動指標（アウトプット指標①）	目 標	6	6	6	6	6
兵庫県で開催する国際大会、全国規模の競技大会数	実績（見込）	3	5	(5)	(6)	【令和13年度】	
	（単位当たりコスト）	(1,414千円)	(1,463千円)	(1,717千円)	(1,436千円)		
	達成率（見込）	50.0%	83.3%	(83.3%)	(100.0%)		
	活動指標（アウトプット指標②）	目 標	—	—	—	—	—
	実績（見込）	—	—	—	—	—	
	（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
	達成率（見込）	—	—	—	—		
	活動指標（アウトプット指標③）	目 標	—	—	—	—	—
	実績（見込）	—	—	—	—	—	
	（単位当たりコスト）	—	—	—	—		
	達成率（見込）	—	—	—	—		
	終期設定	有（ ） ・ 無					
改善基準							
自己評価	評価の視点	評価		目標に対する達成状況（総合的評価）			
	○有効性（評価指標に対する実績）	補助金を助成することで競技団体が大会を招致しやすく、県民が質の高い大会を見る機会を提供することができる。		昨年度までは同一大会の複数回補助は認めていなかったが、今年度より3年以上継続して県内で開催する大会については、大会の定着を図る目的で3年に限り補助対象とした。この変更により、従前から本県で開催されていた大会については、より開催がしやすくなった一方で、同一競技の開催に偏る可能性もある中で、多様な競技が開催できるよう引き続き関係団体へ働きかけていく。			
己	○効率性（最小のコストで最大の効果）	昨年度より、対象経費を競技大会開催に要する経費（一部対象外経費あり）と対象大会に柔軟性を持たせたことで、競技団体にとって全国レベルの大会を招致しやすくなっている。					
評価	課題・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他					
	説明	次回パリオリンピックにおいてブレイキン（ブレイクダンス）が採用されるなど、多様なスポーツへの関心が高まっている。様々な競技の競技人口の裾野拡大や運動・スポーツが好きな子どもの増加、成人のスポーツ実施率を高めるため、様々な競技大会が本県で開催され、県民が間近で観戦できる機会が提供できるよう、対象大会の基準の改善を検討。					
評価							